

Contents

| | |
|--|----|
| 次期舞踊芸術監督 吉田 都 | 2 |
| <hr/> | |
| 2020/2021シーズン バレエ ラインアップ | 5 |
| 白鳥の湖 | 6 |
| くるみ割り人形 | 10 |
| ニューイヤール・バレエ | 14 |
| 吉田都セレクション | 18 |
| コッペリア | 22 |
| ライモンダ | 26 |
| <hr/> | |
| 2020新国フェス ～とどけ！舞台の魔法～ 新国立劇場こどものためのバレエ劇場 2020 | |
| 竜宮 りゅうぐう | 30 |
| <hr/> | |
| 2020/2021シーズン ダンス ラインアップ | 33 |
| 中村恩恵×首藤康之×新国立劇場バレエ団 Shakespeare THE SONNETS | 34 |
| ダンス・コンサート 舞姫と牧神たちの午後 2021 | 36 |
| Co.山田うん オバケッタ | 41 |
| <hr/> | |
| 公演一覧(1997.10～2020.6) | 43 |

※本資料中のスタッフ・キャストは全て予定であり、変更される可能性がございます。
何卒ご承知おきください。

2020/2021 シーズン バレエ・ダンス

次期舞踊芸術監督 吉田 都



2020/2021 シーズンより新国立劇場の舞踊芸術監督に就かせていただくことになりました。

この劇場とは 1997 年に開場記念公演『眠れる森の美女』でオーロラ姫を踊らせていただいたご縁がありますので、今回の拝命は身の引き締まる気持ちがあるとともに、ご縁ある場所での新たな活動を楽しみにする思いもあります。

新国立劇場バレエ団はこの 23 年間でめざましい発展を遂げてきました。これは歴代の芸術監督の強い信念、そしてダンサーたちの情熱と鍛錬の賜物です。こうして積み上げてこられたことを大切にしつつ、私が海外で学んできたことを惜しみなく伝えることで、新国立劇場バレエ団のさらなる進歩を目指して参ります。

バレエ公演では古典作品の上演を中心に、クラシックバレエの伝統を守りつつ、大原芸術監督が推し進めていらっしゃる「テクニックだけではなく表現力の向上」を引き続き目指してゆきたいと考えております。あわせて、新国立劇場バレエ団の宝となるような新たな作品創りにも挑戦していく所存です。

まず 2020/2021 シーズンの幕開けとして『白鳥の湖』を新制作にて上演いたします。新たな一步を踏み出すにあたり、古典バレエの名作中の名作を選びました。今回のプロダクションはサー・ピーター・ライトのもので、英国らしい演劇的要素が盛り込まれた重厚な作品となっております。各配役のキャラクターもはっきりしており、ダンサーたちには演じることの喜びを感じてもらえればと思います。

クリスマスシーズンの 12 月にはイーグリング振付の『くるみ割り人形』を、新春の「ニューイヤー・バレエ」では新国立劇場バレエ団初演となる balan sin の『デュオ・コンチェルト』、久々の上演となる Bintre の人気作品『ペンギン・カフェ』、そして古典バレエ『パキータ』抜粋の 3 作品をお楽しみいただきます。

2 月のトリプル・ビル公演「吉田都セレクション」では『テーマとヴァリエーション』に加え、2 つの新制作バレエを上演いたします。現在世界各国で活躍している振付家デヴィッド・ドウソンが J.S.バッハのピアノコンチェルトに振り付けた『A Million Kisses to my Skin』。もうひとつは巨匠ハンス・ファン・マーネンが A.ピアソラのタンゴとバレエを融合させた大人のバレエ『ファイヴ・タンゴ』です。こちらのプログラムではダンサーたちのこれまでにない、いろいろな面をご覧になれると思います。

5 月のゴールデン・ウィークにはお洒落でエスプリのきいた、プティによる『コッペリア』を、6 月にはルイザ・スピナテッリの格調高く美しい衣裳と美術も楽しめる、牧阿佐美改訂版のグランドバレエ『ライモンダ』でシーズンを締めくくります。

ダンス公演では、新国立劇場で生まれた名作の一つ『Shakespeare THE SONNETS』を新国立劇場バレエ団のダンサーを含めたキャストにより再々演いたします。この作品は 2011 年の初演以来、

中村恩恵と首藤康之の代表作として高い評価を受けてきました。たった二人で演じるシェイクスピア作品の登場人物を、今回は首藤氏と共に、新国立劇場バレエ団のプリンシパル・ダンサーがダブルキャストで演じます。

3月の『舞姫と牧神たちの午後 2021』は、日本を代表する振付家・ダンサー達が競演するダンス・コンサートです。2005年に同じ企画で上演された公演から生まれ、幾度となく再演を重ねた『Butterfly』（振付：平山素子&中川 賢）と「DANCE to the Future 2019」で発表された『Danae』（振付：貝川鐵夫）の2作品で、新国立劇場バレエ団のダンサー達も参加いたします。

7月には実力と個性を持ち合わせたメンバーによる迫力ある群舞などにより、日本を代表するコンテンポラリー・ダンスカンパニーとして活躍する Co.山田うんが登場いたします。国内外で意欲作を発表してきた勢いのあるカンパニーの、大人も子どもも楽しめる新作ダンス公演にどうぞご期待ください。

歴代の芸術監督が築き上げてこられた実績に恥じぬよう、より一層、皆様にご満足いただけるよう精一杯努めて参りたいと思っております。新国立劇場のバレエ、ダンス公演にたくさんのお客様がお越しくださることを心より願っております。

〈プロフィール〉

9歳でバレエを習い始め、1983年ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞受賞。同年、英国ロイヤルバレエ学校に留学。84年、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエ（現バーミンガム・ロイヤルバレエ）へ芸術監督ピーター・ライトに認められて入団。88年にプリンシパル昇格。95年に英国ロイヤルバレエへプリンシパルとして移籍、2010年に退団するまで英国で計22年にわたり最高位プリンシパルを務める。

日本国内では1997年の開場記念公演『眠れる森の美女』をはじめ、新国立劇場バレエ公演での99年『ドン・キホーテ』『シンデレラ』、2000年『ラ・シルフィード』、04年『ライモンダ』ほか、数多くの公演に主演している。

ローザンヌ国際バレエコンクール審査員を務めるほか、後進の育成にも力を注いでいる。バレリーナとしての功績と共にチャリティ活動を通じた社会貢献が認められ、04年「ユネスコ平和芸術家」に任命される。12年には国連UNHCR協会国連難民親善アーティストに任命。

01年芸術選奨文部科学大臣賞、06年英国最優秀女性ダンサー賞、11年第52回毎日芸術賞など受賞多数。07年に紫綬褒章並びに大英帝国勲章（OBE）受賞、17年文化功労者、19年菊池寛賞。

Ballet

2020/2021 シーズン バレエ ラインアップ

〈計 6 演目 34 公演〉

2020 年 10 月～11 月

白鳥の湖 **新制作**

9 回公演

2020 年 12 月

くるみ割り人形

9 回公演

2021 年 1 月

ニューイヤール・バレエ

パキータ / デュオ・コンチェルタント **新制作** / ペンギン・カフェ

3 回公演

2021 年 2 月

吉田都セレクション

ファイヴ・タンゴ **新制作** / A Million Kisses to my Skin **新制作** / テーマとヴァリエーション

3 回公演

2021 年 5 月

コッペリア

5 回公演

2021 年 6 月

ライモンダ

5 回公演

令和 2 年度 バレエ公演

〈1 演目 8 公演〉

2020 年 7 月

2020 新国フェス ～とどけ！舞台の魔法～
新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 2020

竜宮 りゅうぐう **新制作**

8 回公演

白鳥の湖

2020年 10/23~11/1
＜新制作＞
New Production

Swan Lake

オペラパレス | 9回公演

●会員先行販売期間：2020年6/21(日)~6/30(火)

●一般発売日：2020年7/4(土)

2020年10/23(金) 19:00、24(土) 13:00 / 18:30、25(日) 14:00、27(火) 13:00、29(木) 13:00、
31(土) 13:00 / 18:30、11/1(日) 14:00

料金 S:14,300円 A:12,100円 B:8,800円 C:6,600円 D:4,400円

吉田都新芸術監督第一期目のシーズンのオープニングは、古典バレエの名作中の名作『白鳥の湖』で幕を開けます。サー・ピーター・ライトによるプロダクションは、英国らしい演劇的要素が盛り込まれた重厚な作品となっており、各キャラクターの人物造形も明確で、ドラマティックな展開がお楽しみいただけます。テクニックのみならず、近年演技力にも磨きをかけている新国立劇場バレエ団ダンサーたちの渾身の舞台にご期待ください。

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

Music by Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY

振付：マリウス・プティパ、

Choreography by Marius PETIPA,

レフ・イワノフ、ピーター・ライト

Lev IVANOV and Peter WRIGHT

演出：ピーター・ライト、ガリーナ・サムソワ

Production by Peter WRIGHT

in association with Galina SAMSOVA

美術・衣裳：フィリップ・プロウズ

Set and Costume Designer: Philip PROWSE

照明：ピーター・タイガン

Lighting Designer: Peter TEIGEN

指揮：ポール・マーフィー／富田実里

Conductors: Paul MURPHY / TOMITA Misato

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

ものがたり

先王である父の死後、王子ジークフリードは新たな王として戴冠し、結婚することが求められていた。彼はそれまでの自由を失うことを恐れ、愛してもいない結婚相手を選ぶことにためらいを感じていた。ジークフリード 21 歳の誕生日の夜、彼に弓矢のプレゼントを贈るために宮廷の友人たちが集った。友人でもある侍従ベンノがジークフリードの気晴らしのために催した宴の真最中に、王妃である母が現れる。宮廷がまだ喪に服している中で大騒ぎにショックを受けた王妃は、翌日には花嫁を選ばなくてはいけないと王子に告げ、意気消沈した彼をその場に残留して立ち去る。ベンノはジークフリードを元気づけようと、友人たちと未来の王位継承を祝って乾杯のダンスを踊る。友人たちが帰っていった後、白鳥の一群が空を渡っていく。ベンノはジークフリードにプレゼントの弓矢を試すよう促し、二人は白鳥たちを追っていく。

湖岸に着いたジークフリード王子は、ベンノに白鳥を探しに行かせる。一人残った王子は、そこに魔術師ロートバルト卿の邪悪な存在を感じとる。突然一羽の白鳥が舞い降りてくる。そして王子が驚き見つめるなか、美しい乙女に姿を変える。その若い娘こそオデット姫であった。オデットと彼女の仲間たちはロートバルト卿によって白鳥の姿に変えられ、夜の間だけは人間の姿に戻れるのだ。オデットにかけられた魔法は、まだ恋をしたことをない者が彼女に永遠の愛を誓い、結婚の約束をすることで解くことができるという。ジークフリードはオデットへの永遠に続く真実の愛を誓う。姿を現したロートバルトにジークフリードが矢を向けるが、オデットはそれを遮り、魔術師が死ぬと、魔法の呪いは永久に解けなくなると話す。さらにオデットは、もしジークフリードが愛の誓いを破るようなことがあったら、彼女は永遠に白鳥の姿でいなくてはならないと伝える。やがて夜明けが訪れ、オデットと仲間たちは白鳥の姿に戻り、湖へと帰っていく。

翌日、壮麗なレセプションには、ジークフリード王子の結婚相手の候補として 3 人の王女が招かれていた。3 人の王女たちはそれぞれジークフリードのために踊りを披露するが、彼は心ここにあらずの様子で、花嫁を選ぶことを断ってしまう。ファンファーレが鳴り響き、予定されていなかった客人の到来を告げる。それは使節に身を扮したロートバルトと、魔法でオデットそっくりに姿を変えた、彼の娘オディールだった。

王子は驚くほどオデットに似たこの見知らぬ客人に心奪われ、やがてこの女性が白鳥の姫だと信じ込んでしまう…。



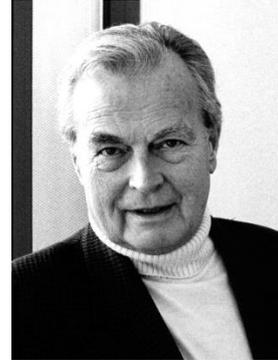
バーミンガム・ロイヤルバレエ公演より Photo by Bill Cooper

スタッフ プロフィール

振付・演出: ピーター・ライト

Choreography and Production by Peter WRIGHT

ロンドン生まれ。複数のバレエ団でダンサーとして活躍。1957年サドラーズウェルズ・シアター・バレエで最初の振付作品『青いバラ』を創作。59年サドラーズウェルズ・オペラでバレエ・マスター、英国ロイヤルバレエ学校でバレエ教師を務める。61年ジョン・クランコ設立のシュツットガルト・バレエ団でバレエ教師及びバレエ・マスターとして活躍。シュツットガルト・バレエ団で初演された初の改訂振付作品『ジゼル』は、後に当作品は英国ロイヤルバレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエを始め世界の多くのバレエ団で上演。この他にも『眠れる森の美女』『 Coppélia』『白鳥の湖』など彼の改訂した古典作品は世界各国のバレエ団でレパートリーとして上演されている。60年代テレビでのバレエ作品やウェスト・エンドのミュージカルの分野でも成功を収めた。69年ケネス・マクミランのアソシエイト・ディレクターとして英国ロイヤルバレエに戻り、77年サドラーズ・ウェルズ・ロイヤル・バレエ（後のバーミンガム・ロイヤルバレエ）の芸術監督に就任、95年芸術監督退任後、名誉芸術監督。バレエ界の数々の要職を歴任。85年大英帝国勲章（CBE）、90年エリザベス2世戴冠賞、93年ナイト爵授与など。



演出: ガリーナ・サムソワ

Production in associated with Galina SAMSOVA

スターリングラード（現ヴォルゴグラード）生まれ、キエフで活動始める。西側への移住許可を受け、カナダ国立バレエに入団。プリンシパルとして数多くの作品を踊る。パリ国際舞踊フェスティバルでオルリコフスキー『シンデレラ』を踊り金メダル受賞。その後ロンドン・フェスティバル・バレエに入団し活躍した。古典レパートリーの優れた表現者であり、カーター、ダレル、ハインド、プロコフスキーらの新作に主演。彼女のオデット/オディール、オーロラ姫、キトリは世界中で喝采を受け、またその演劇的な才能は、プロコフスキー『アンナ・カレーニナ』、マクミラン『イザドラ』、ダレル『シェリ』で発揮された。1978年サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエにプリンシパル兼教師として入団、'81年に自身の演出で出演した『パキータ』が好評を得る。ライト版『白鳥の湖』でも共同で演出をおこなった。国外でも演出家としての評判が高まり、『ラ・バヤデール影の王国』『海賊パ・ド・ドゥ』『ワルプルギスの夜』『ジゼル』『眠れる森の美女』等を手がけた。'91年より'97年までの間、スコティッシュ・バレエの芸術監督を務め、'95年には同団のために全幕版『白鳥の湖』を演出、同年ウクライナにて名誉教授号を授与。



美術・衣裳: フィリップ・プロウズ

Set and Costume Designer: Philip PROWSE

英国のスレイド・スクール・オブ・ファイン・アーツで学び、1961年にデザイナーとしてデビュー。演出家としても活躍し、1970~2003年までグラスゴー市民劇場の共同芸術監督を務める。母校のスレイド・スクールで舞台美術を教え、後に同校の教授となった。



スタッフ プロフィール

照明:ピーター・タイガン

Lighting Designer: Peter TEIGEN

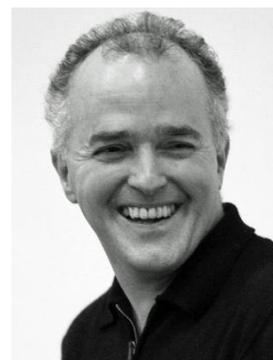
ノルウェー・オスロ生まれ。英国に渡り、ロンドン・シティ・バレエなどで専属照明デザイナーとして活躍。フリーとなってからは、マシュー・ボーン、マーク・ボールドヴィン、デヴィッド・ビントレー、ピーター・ライトといった今日高く評価されている振付家たちとともに舞台を制作。現在、英国バーミンガム・ロイヤルバレエ照明デザイン・コンサルタントとして海外公演における折衝役も担っている。



指揮:ポール・マーフィー

Conductor: Paul MURPHY

バーミンガム・ロイヤルバレエとそのオーケストラ、ロイヤル・バレエ・シンフォニアの首席指揮者。劇場での公演に加え、コンサートや収録でも共に仕事をしている。1994年以来、ロイヤルオペラハウス管弦楽団と定期的に仕事をしている。その他、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ハレ管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、BBC ナショナル・ウェールズ管弦楽団、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、BBCコンサート・オーケストラ、オペラ・ノース管弦楽団、バーミンガム市交響楽団等、英国の優れたオーケストラを多数指揮している。海外では、ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団、ワシントン・ナショナル・オペラ管弦楽団、ソフィア・オペラ管弦楽団、シチリアのテアトロ・マッシモ管弦楽団等と仕事をしている。また、ニューヨーク・シティ・バレエ、バレエ・アム・ライン、ロイヤル・フランダース・バレエ、オランダ国立バレエ、最近ではオーストラリア・バレエのゲスト指揮者を務めている。CD のリリースではハレ管弦楽団（サン・サーンスのピアノと管弦楽全曲）、ロイヤル・バレエ・シンフォニア、ニュー・クイーンズ・ホール管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団との共演がある。97年、英国王立音楽院のアソシエイトに選ばれた。新国立劇場では、『アラジン』『カルミナ・ブラーナ』『ガラントゥリーズ』『火の鳥』『シンフォニー・イン・C』『ペンギン・カフェ』『バゴダの王子』ほかを指揮している。



指揮:富田実里

Conductor: TOMITA Misato

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部にて指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、井上バレエ団、NBAバレエ団、東京バレエ団の公演で指揮を務め好評を得る。また、指揮者の活動以外にも様々な分野でピアニストとして活躍の場を広げている。新国立劇場バレエ団では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、現在レジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』を指揮した。



2020年 12/12~20
<レパートリー>
Repertoire

くるみ割り人形

The Nutcracker and the Mouse King

オペラパレス | 9回公演

●会員先行販売期間: 2020年 7/23(木・祝)~8/4(火)

●一般発売日: 2020年 8/8(土)

2020年 12/12(土) 13:00 / 18:00、13(日) 13:00 / 18:00、18(金) 19:00、19(土) 13:00 / 18:00、20(日) 13:00 / 18:00

料金 S:13,200円 A:11,000円 B:7,700円 C:4,400円 D:3,300円

2017年に初演された本作は、ウエイン・イーグリングによる華麗でスピーディーな振付やユーモアのセンス、上品で華やかな美術や衣裳によって現実と夢の世界を美しく描いています。古典名作の新境地を開いたと高く評価された人気演目です。高度なパートナーリングやテクニックが求められる主役のみならず、雪の場面や花のワルツの群舞、2幕のディヴェルティスマンなど見どころが多く、充実したダンサー陣容を誇る新国立劇場バレエ団ならではの『くるみ割り人形』です。再演を重ねることでさらに磨き上げられた舞台をご堪能ください。

音楽: ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

振付: ウエイン・イーグリング

美術: 川口直次

衣裳: 前田文子

照明: 沢田祐二

指揮: アレクセイ・バクラン

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

合唱: 東京少年少女合唱隊

Music by Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY

Choreography by Wayne EAGLING

Set Designer: KAWAGUCHI Naoji

Costume Designer: MAEDA Ayako

Lighting Designer: SAWADA Yuji

Conductor: Alexei BAKLAN

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

Chorus: The Little Singers of Tokyo

ものがたり

クリスマス・イブ。クララの家ではパーティーの準備で忙しく、外では凍った運河の上で人々がスケートを楽しんでいる。謎めいたドロッセルマイヤーと、士官学校を卒業したばかりの彼の甥が到着する。ドロッセルマイヤーは招待客に手品を披露し、クララの姉のルイーザとルイーザを慕う3人の男性が踊りだす。ドロッセルマイヤーがクララに贈ったくるみ割り人形（以下、人形）を兄のフリッツが壊してしまうが、ドロッセルマイヤーは魔法のように人形を元通りに直す。パーティーが終わり、クララが眠りにつくと、夢の中で人形は邪悪なねずみの王様に攻撃される。ねずみの王様がねずみたちを引き連れて現れると人形も勇敢な兵士に変身し、ねずみたちとの戦いに挑む。ねずみの軍隊が勝利し、人形は傷を負ってしまう。ドロッセルマイヤーがその場を収め、クララは人形から姿を変えた甥と二人ロマンティックなパ・ド・ドゥを踊る。しかし雪が降り始めるなか、ねずみの王様は甥を人形の姿に戻してしまう。居間が魔法にかかり、光り輝く雪片が降る白銀世界に変わっていく。ねずみの王様たちの軍勢に追われるクララと人形は、ドロッセルマイヤーに救われて、魔法の地へと気球に乗って運ばれていく。一方でねずみの王様は一計を案じる。

魔法の地に到着した。甥はねずみの王様を打ち負かして、壮大な祝祭が始まる。中国、アラビア、ロシア、スペインなど世界中のダンサーたちが様々な踊りを見せる。ドロッセルマイヤーの魔法で美しい庭が現れ、その中でダンサーたちが花のワルツを踊る。最後にクララはこんぺい糖の精となり、王子になった甥とともに美しいパ・ド・ドゥを踊る。

クララは突然、寝室で目覚めた自分に驚く。フリッツとクララは外に出て、雪の中でドロッセルマイヤーとその甥に手を振って別れを告げる。子供たちは不思議な思いに包まれて二人を見送る。



2018年公演より（撮影：鹿摩隆司）

スタッフ プロフィール

振付:ウエイン・イーグリング

Choreography by Wayne EAGLING

カナダのモントリオール生まれ。ロンドンの英国ロイヤルバレエ学校で学び、卒業後1969年に英国ロイヤルバレエに入団。1975年にはプリンシパル・ダンサーに昇進。同バレエ団のレパートリーの主たる古典的な役の全てを踊り、マクミラン、アシュトン、バランシン、ロビンス、ハンス・ファン・マーネン、ノイマイヤー、ヌレエフ、ピントレーといった振付家の作品に出演。英国ロイヤルバレエ学校用に『R.B.Sque』（83年）、ロイヤルバレエ公演に『フランケンシュタイン、現代のプロメテウス』（85年）などを創作。91年にダンサーとしての現役を引退し、その後13年間オランダ国立バレエの芸術監督を務める。オランダ国立バレエのための振付作品は、『Ruins of Time』（93年）、『魔笛』（98年）、『春の祭典』（2000年）など。05年から12年までロンドンのイングリッシュ・ナショナル・バレエの芸術監督として『レゾリューション』（08年）、『Men Y Men』（09年）、『くるみ割り人形』（10年）、『遊戯』（12年）の振付を行っている。新国立劇場バレエ団では14年『眠れる森の美女』を改訂振付、16年『Men Y Men』日本初演、17年『くるみ割り人形』振付を手がけた。



美術:川口直次

Set Designer: KAWAGUCHI Naoji

1962年日本放送協会に入局。大河ドラマなどテレビドラマの美術で活躍するかたわら、オペラ・バレエ・演劇などの舞台美術を数多く手がける。77年伊藤熹燾賞受賞。83年文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。日本放送協会を退職後、武蔵野美術大学で、舞台美術、映像美術の教育に携わる。新国立劇場のバレエ公演では、『パキータ』『こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』』、2014年『眠れる森の美女』、15年『ホフマン物語』、17年『くるみ割り人形』、オペラ公演では『セビリアの理髪師』『トスカ』『こうもり』の美術を手がけた。バレエの代表作としては、『新白鳥の湖』『ロミオとジュリエット』（松山バレエ団）、『ドン・キホーテ』（牧阿佐美バレエ団）など。近年手がけたオペラ作品としては『ラ・ボエーム』『フィガロの結婚』『セビリアの理髪師』（名古屋二期会）、新作オペラ『いのち』（長崎県オペラ協会公演）などがある。オペラ、バレエのほかに演劇や映画の美術を多数手がけており、代表的な映画作品に伊丹十三監督作品『静かな生活』『スーパーの女』『マルタイの女』がある。武蔵野美術大学名誉教授。



衣裳:前田文子

Costume Designer: MAEDA Ayako

1988年より緒方規矩子に師事。95年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてイギリスへ留学。新国立劇場では演劇公演『喪服の似合うエレクトラ』『夢の痲』『ヘンリー六世』『雨』『リチャード三世』『アジア温泉』『プレス・オブ・ライフ』『星ノ数ホド』『オレスティア』『骨と十字架』、オペラ公演『蝶々夫人』『鹿鳴館』、バレエ公演では石井潤『カルメン』、ダレル『ホフマン物語』、イーグリング『くるみ割り人形』、ダンス公演の伊藤キム『close the door, open your mouth』、前田清実『きらめく背骨』の衣裳も手がけている。95年度伊藤熹燾賞新人賞、第10回読売演劇大賞優秀スタッフ賞、2003年度伊藤熹燾賞、06年第5回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。



スタッフ プロフィール

照明: 沢田祐二

Lighting Designer: SAWADA Yuji

東京生まれ。文化庁派遣在外研修員としてロンドン、ベルリンで演劇、オペラ、バレエの照明法を学ぶ。現在は演劇、オペラ、バレエ、ミュージカルなど幅広いジャンルで照明デザイナーとして活躍。新国立劇場におけるバレエ公演では『眠れる森の美女』『ホフマン物語』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ライモンダ』『白鳥の湖』『ジゼル』『マノン』『カルメン』『オルフェとエウリディーチェ』『椿姫』『火の鳥』『パゴダの王子』など。日本バレエ協会公演『白鳥の湖』『ジゼル』『眠れる森の美女』『アンナ・カレーニナ』なども手掛ける。他に新国立劇場ではオペラで『カルメン』『魔弾の射手』『黒船』『修善寺物語』『鹿鳴館』『夜叉ヶ池』、演劇では『城』『わが町』『アジア温泉』『ピグマリオン』『かもめ』『オレステイア』などを手掛ける。第1、10回照明家協会賞大賞、文部大臣奨励賞。第1回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞。第33回紀伊国屋演劇賞。第1回橘秋子舞台クリエイティブ賞を受賞。



指揮: アレクセイ・バクラン

Conductor: Alexei BAKLAN

ウクライナ国立歌劇場指揮者。1987年、キエフ国立音楽院を卒業後、ウクライナ国立歌劇場にて指揮者を務める。95年、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場首席指揮者に就任。ウクライナ芸術功労活動家の称号を授与される。ウクライナ国立歌劇場では『マーメイド』『コッペリア』『ウィンナー・ワルツ』『海賊』、また、キエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場では『リゴレット』『ロメオとジュリエット』『ラ・バヤデール』『ジゼル』『白鳥の湖』『不死身のカシェイ』（リムスキー＝コルサコフ）、『森の詩』（スコルリスキー）などのオペラ、バレエに指揮者・音楽監督として参加。ベートーヴェン『交響曲第9番』、ロッシニ『スターバト・マーテル』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』などを手がける。2003年、06年にはメキシコで、世界のバレエ界のスターたちを集めて行なわれたガラ・コンサート《バレエティッシモ》で指揮を務めた。06年にザグレブ国立歌劇場に招かれたほか、メキシコシティ国立バレエ団に度々招かれ、『ロメオとジュリエット』などの指揮を務める。また、ウクライナ国立歌劇場のドイツ、フランス、スペイン、スロベニア、ポルトガル、韓国、南アフリカ、メキシコ公演、およびキエフ市アカデミー・オペラ・バレエ劇場イギリス公演（05、06、07年）に参加。新国立劇場バレエ団では08年以降、『ラ・バヤデール』『白鳥の湖』『ドン・キホーテ』『シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメント』『大フーガ』『テーマとヴァリエーション』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『ジゼル』などで指揮を務めている。



2021年1/9~11

ニューイヤー・バレエ

パキータ / デュオ・コンチェルタント / ペンギン・カフェ

New Year Ballet

Paquita / Duo Concertant / 'Still Life' at the Penguin Café

オペラパレス | 3回公演

●会員先行販売期間: 2020年9/6(日)~9/16(水)

●一般発売日: 2020年9/20(日)

2021年1/9(土) 14:00、10(日) 14:00、11(月・祝) 14:00

料金 S:11,000円 A:8,800円 B:6,600円 C:4,400円 D:3,300円

指揮者: ポール・マーフィー

Conductor: Paul MURPHY

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

新春は華やかな「ニューイヤー・バレエ」で幕を開けます。新制作として新国立劇場バレエ団初演となるバランシンの『デュオ・コンチェルタント』を上演します。またビントレーの人気作『ペンギン・カフェ』と古典バレエの『パキータ』を久しぶりに再演します。

パキータ Paquita

音楽: レオン・ミンクス

Music by Léon MINKUS

振付: マリウス・プティパ

Choreography by Marius PETIPA

美術: 川口直次

Set Designer: KAWAGUCHI Naoji

衣裳: 大井昌子

Costume Designer: OOI Masako

照明: 立田雄士

Lighting Designer: TATSUTA Yuji

新国立劇場では2003年初演以来18年ぶりの上演となります。当作品はスペインを舞台としたロマの娘の恋物語で、ロマンティック・バレエ時代の1846年にパリ・オペラ座で初演されました。近年、パリ・オペラ座バレエによって復元上演されるまでは、プティパによる改訂版のこの部分のみが伝えられていました。主役のパキータがめでたく結婚式を挙げる最終場面でのグラン・パを中心に、ソリストたちの華やかな踊りが次々と繰り広げられます。

デュオ・コンチェルタント Duo Concertant **新制作**

音楽: イーゴリ・ストラヴィンスキー

Music by Igor STRAVINSKY

振付: ジョージ・バランシン

Choreography by George BALANCHINE

© The George Balanchine Trust

The Performance of Duo Concertant, a Balanchine® Ballet, is presented by arrangement with The George Balanchine Trust and has been produced in accordance with the Balanchine Style® and Balanchine Technique® Service standards established and provided by the Trust.

ストラヴィンスキーのヴァイオリンとピアノのための楽曲に、バランシンが振り付けた作品で、1972年に行われたストラヴィンスキー・フェスティバルで、ニューヨーク・シティ・バレエ団によって初演されました。舞台上で演奏する2人の音楽家と2人のダンサーだけで演じられる、洒落たイメージの作品です。

ペンギン・カフェ ‘Still Life’ at the Penguin Café

音楽：サイモン・ジェフス

Music by Simon JEFFES

振付：デヴィッド・ビントレー

Choreography by David BINTLEY

美術・衣裳：ヘイデン・グリフィン

Set and Costume Designer: Hayden GRIFFIN

照明：ジョン・B・リード

Lighting Designer: John B. READ

80年代に一大センセーションを巻き起こしたワールド・ミュージック・アンサンブル「ペンギン・カフェ・オーケストラ」の音楽を使用。可愛らしい動物の仮面を被って踊るダンサー、ポップで心地よい音楽で上演される作品の根底には、痛烈な文明批判と現代の環境問題にも通じるメッセージが含まれています。



2013年公演より（撮影：鹿摩隆司）

スタッフ プロフィール

パキータ Paquita

振付: **マリウス・プティパ**

Choreography by Marius PETIPA

1818年フランス・マルセイユ生まれ。舞踊家、舞踊教師、振付家。13歳のときに父の作品で舞台デビューを果たし、47年にサンクトペテルブルグの帝室ボリショイ劇場に招かれた。55年からは父の後任として、劇場附属バレエ学校で、踊りと得意としていたマイムの教師を兼任している。62年に振り付けた『ファラオの娘』が大成功し、副バレエ・マスターに就任。69年にはサン＝レオンが退任したため、首席バレエ・マスターとなる。以後『ドン・キホーテ』(1869)、『ラ・バヤデール』(1877)、『眠れる森の美女』(1890)、『白鳥の湖』(1895、イワノフと共作)、『ライモンダ』(1898)など、数々の傑作を残しロシア・バレエの伝統を確立した。1903年初演の『魔法の鏡』まで、改訂振付を加えれば70以上の作品をロシアで振り付けている。1910年死去。

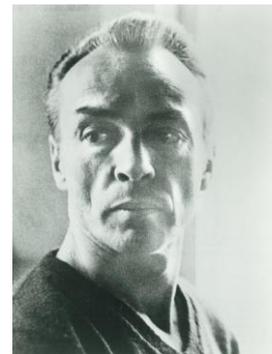


デュオ・コンチェルタント Duo Concertant

振付: **ジョージ・バランシン**

Choreography by George BALANCHINE

1904年サンクトペテルブルグ生まれ。帝室バレエ学校に学ぶ。21年に国立オペラ・バレエ(現マリインスキー劇場バレエ)に入団、前衛振付家として頭角をあらわす。並行して、ペトログラード音楽院で音楽理論とピアノを学んだ。24年同僚ダンサーと巡業中だったパリで、ディアギレフのバレエ・リュスに入団する。29年に同団が解散するまで、『アポロ』『放蕩息子』など10作を振付けた。33年に渡米、リンカン・カースティン等とスクール・オブ・アメリカン・バレエを開校する。48年に発足したニューヨーク・シティ・バレエを終生の活動拠点とし、アブストラクト・バレエを主体とする、スピード感溢れる清新なスタイルを確立した。アメリカを代表する振付家であるだけでなく、20世紀の最も重要な振付家の一人。83年ニューヨークにて死去。



ペンギン・カフェ 'Still Life' at the Penguin Café

振付: **デヴィッド・ビントレー**

Choreography by David BINTLEY

英国ハダーズフィールド生まれ。英国ロイヤルバレエ学校で学ぶ。1983年から93年の間、サドラーズウェルズ・ロイヤルバレエや英国ロイヤルバレエの振付家として活躍。その見事な振付はアシュトンやマクミランの流れを引く。93年にフリーランスになった時には、世界中の7カンパニーから新制作依頼が殺到した。その中にはミュンヘン・バレエの『コンプリート・コンサート』(94年)、シュツットガルト・バレエ団のために振付けた『エドワード2世』(95年)などがある。95年から2019年までバーミンガム・ロイヤルバレエ芸術監督を務める。その後も『アーサー王』『美女と野獣』『シラノ』などの新しい作品を創作している。『E=mc²』は2010年にサウス・バンク・ショー・アワードを受賞、またローレンス・オリヴィエ賞にノミネートされた。01年大英帝国勲章(CBE)を受勲。10年から14年まで新国立劇場舞踊芸術監督を務め、新国立劇場バレエ団のために08年に『アラジン』、11年『パゴダの王子』を振り付け、好評を得た。



スタッフ プロフィール

指揮:ポール・マーフィー
Conductor: Paul MURPHY

※9 ページ『白鳥の湖』を参照



2021年 2/20~23

吉田都セレクション

ファイヴ・タンゴ / A Million Kisses to my Skin / テーマとヴァリエーション

Yoshida Miyako's Selection -The Greatest Ballets

5 Tangos / A Million Kisses to my Skin / Theme and Variations

●会員先行販売期間：2020年10/4(日)~10/14(水)

●一般発売日：2020年10/18(日)

オペラパレス | 3回公演

2021年2/20(土) 14:00、21(日) 14:00、23(火・祝) 14:00

料金 S:11,000円 A:8,800円 B:6,600円 C:4,400円 D:3,300円

指揮者：マーティン・イエーツ

Conductor: Martin YATES

管弦楽：東京交響楽団

Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra

「ニューイヤー・バレエ」に引き続き2本目のトリプル・ビルは心躍るバレエ3作品をお届けします。新制作となる『A Million Kisses to my Skin』は現在世界各国で活躍中のデヴィッド・ドウソンがバッハのピアノコンチェルトに振り付けた作品。もう一つの新制作は巨匠ハンス・ファン・マーネンがピアソラの音楽に振り付けた『ファイヴ・タンゴ』。タンゴとバレエが融合した大人のバレエ作品です。そしてバランシンの人気作『テーマとヴァリエーション』が加わり、バラエティ豊かなプログラムとなっています。新たな作品にチャレンジすることで、ダンサーたちのこれまでにない面をご覧いただけることと思います。

ファイヴ・タンゴ 5 Tangos **新制作**

音楽：アストル・ピアソラ

Music by Astor PIAZZOLLA

振付：ハンス・ファン・マーネン

Choreography by Hans van MANEN

美術・衣裳：ジャン＝パウル・フローム

Set and Costume Designer: Jean-Paul VROOM

照明：ヤン・ホーフストラ

Lighting Designer: Jan HOFSTRA

当作品は現代タンゴの傑作、ピアソラの『ファイヴ・タンゴ』を使用し、1977年にオランダ国立バレエで初演されました。ハンス・ファン・マーネンの作品中最も上演頻度の高い作品のひとつで、タンゴの楽曲に乗せた情熱的な大人のバレエです。

A Million Kisses to my Skin **新制作**

音楽：J.S.バッハ

Music by Johann Sebastian BACH

振付：デヴィッド・ドウソン

Choreography by David DAWSON

美術：デヴィッド・ドウソン

Set Designer: David DAWSON

衣裳：竹島由美子

Costume Designer: TAKESHIMA Yumiko

照明：バート・ダルハイゼン

Lighting Designer: Bert DALHUYSEN

英国の振付家デヴィッド・ドウソンによる作品で、2000年にオランダ国立バレエで初演されました。ドウソンはプログラムノートで、この作品でクラシックバレエダンサーとしてのキャリアに別れを告げ、新たな表現を目指したと語っています。バッハのピアノコンチェルトにのせて踊られる、バランシンを思わせるネオ・クラシック・スタイルのバレエは見るものを魅了します。

テーマとヴァリエーション Theme and Variations

音楽：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

Music by Pyotr Ilyich TCHAIKOVSKY

振付：ジョージ・バランシン

Choreography by George BALANCHINE

© The George Balanchine Trust

美術：牧野良三

Set Designer: MAKINO Ryoizou

衣裳：大井昌子

Costume Designer: OOI Masako

照明：磯野 睦

Lighting Designer: ISONO Mutsumi

The Performance of Theme and Variations, a Balanchine® Ballet, is presented by arrangement with The George Balanchine Trust and has been produced in accordance with the Balanchine Style® and Balanchine Technique® Service standards established and provided by the Trust.

バランシンが1947年に発表した作品で、ステップや身体の動きでチャイコフスキーの音楽をより細かく表現した華やかで美しい作品です。新国立劇場バレエ団では、2000年の初演以来再演を重ね、アンサンブルの美しさで高い評価を受けています。「見る音楽」と評されるバランシンの振付をご堪能ください。



2017年公演より（撮影：鹿摩隆司）

スタッフ プロフィール

ファイヴ・タンゴ 5 Tangos

振付:ハンス・ファン・マーネン

Choreography by Hans van MANEN

オランダ・アムステルフェーン生まれ。1951年ソニア・ギヤスケル・バレエ・リサイタルの一員としてキャリアをスタートさせる。52年ネザールランド・オペラ・バレエに加わり、最初の作品『Feestgericht』を振付。その後ローラン・ブティのバレエ・ド・パリに加わる。60年にはネザールランド・ダンス・シアターの創設に参加、63年までダンサー、振付家として活躍し、61~71年芸術監督も務める。73年オランダ国立バレエに参加、88~2003年ネザールランド・ダンス・シアターの常任振付家、03年オランダ国立バレエの常任振付家も務める。これまでに創作したバレエは120以上におよぶ。作品は明瞭な構成、洗練されたシンプルさを特徴とする。オランダ以外でシュツットガルト・バレエ団、バイエルン州立バレエ、ベルリン・オペラ、ヒューストン・バレエ、カナダ国立バレエ、英国ロイヤルバレエ、デンマーク王立バレエ、ウィーン国立歌劇場、アルヴィン・エイリー・アメリカン・ダンス・シアターなど世界各国で作品が上演されている。92年オランダ女王陛下からオラニエ・ナッソー勲章のナイトの称号を与えられた。05年にはブノワ賞受賞等数々の賞を受賞している。新国立劇場バレエ団では14年『大フーガ』を上演。

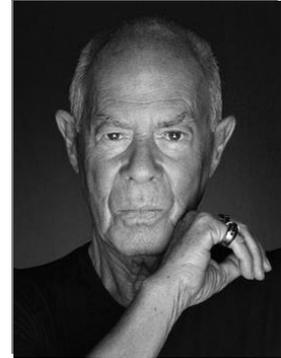


Photo by Erwin Olaf

A Million Kisses to my Skin

振付:デヴィッド・ドウソン

Choreography by David DAWSON

ロンドン生まれ。英国ロイヤルバレエ学校卒業後、91年ローザンヌ国際バレエコンクール入賞、同年バーミンガム・ロイヤルバレエに入団。94年イングリッシュ・ナショナル・バレエにソリストとして入団、翌年オランダ国立バレエに移籍。2000年にはフランクフルト・バレエ団に移り、ウィリアム・フォーサイスの作品を踊る。同バレエ団で2年余りダンサーとして活躍後、振付家としての活躍を開始した。今日のクラシックバレエ界における最も優れた英国人振付家の一人で、現代的な手法でクラシックバレエを振り付け、彼の著名な作品群は世界中で上演され高い評価を得ている。

『The Grey Area』でブノワ賞振付部門受賞、同作品で英国舞踊批評協会賞にノミネート、マリインスキー劇場バレエのために振り付けた『Reverence』で英国人振付家初となる、ロシアの舞台芸術における最も権威のあるゴールデン・マスク賞を受賞するなど数々の賞を受賞している。

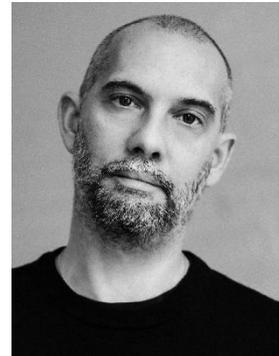


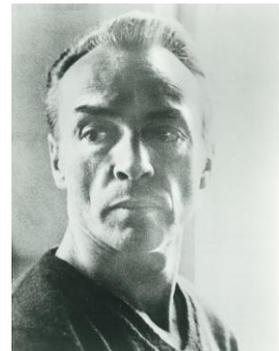
Photo by Oliver Look

テーマとヴァリエーション Theme and Variations

振付:ジョージ・バランシン

Choreography by George BALANCHINE

※16ページ『ニューイヤール・バレエ』を参照



指揮: マーティン・イエーツ
Conductor: Martin YATES

20 年余りにわたり多彩なジャンルで活躍してきた英国人指揮者。ピアノ、作曲、指揮を学んだ後、イスラエル・ナショナル・オペラで指揮者としてデビュー。以降、英国内のロンドン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、バーミンガム市立交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー、ハレ管弦楽団などのオーケストラに客演し、ヨーロッパ各地の管弦楽団に招かれている。スウェーデン室内管弦楽団ではマーク＝アンソニー・タネジの『A Prayer Out of Stillness』の世界初演を指揮。また一流の伴奏者としても評価が高く、ホセ・カレーラス、バーバラ・ヘンドリックス、プリン・ターフェル、モンセラート・カバリエ、ロベルト・アラニーヤ、アンジェラ・ゲオルギュー、ヨーヨー・マら世界的に有名な芸術家と共演している。またミュージカル指揮者としても知られており、ウェスト・エンドのミュージカルのヒット作の音楽監督を多数務めている。バレエは音楽活動の中心的位置を占めており、英国ロイヤルバレエとは、2004 年 2 月にストラヴィンスキー作曲『アゴン』でデビューして以来、これまでに『マノン』『ロメオとジュリエット』『うたかたの恋』『七つの大罪』『白鳥の湖』を指揮したほか、同団のツアー公演に同行している。ノルウェー国立バレエ団、フィンランド国立バレエ団にもたびたび客演し、成功を収める。新国立劇場では、『マノン』『シンデレラ』『ロメオとジュリエット』『ドン・キホーテ』を指揮している。



コッペリア

2021年 5/1~8
<レパートリー>
Repertoire

Roland Petit's Coppélia

オペラパレス | 5回公演

●会員先行販売期間: 2020年11/23(月・祝)~12/2(水)

●一般発売日: 2020年12/6(日)

2021年 5/1(土) 14:00、2(日) 14:00、4(火・祝) 14:00、5(水・祝) 14:00、8(土) 14:00

料金 S:13,200円 A:11,000円 B:7,700円 C:4,400円 D:3,300円

ローラン・プティが画期的な演出と振付で創作した『コッペリア』は、1975年にマルセイユ・バレエで誕生しました。それまで世界中で上演されていた『コッペリア』が19世紀の時代精神を体現するバレエだとすると、本作品は現代に生きる人々が主人公で、時代を超越した人生と愛がテーマとしてはっきり浮き上がります。プティ自身が演じたコッペリウスの名演が今でも語り継がれる、彼の代表作です。プティ独特のユーモアやフランス流の洒落た仕掛けの妙味はもちろん、ラストに待ち受ける奥深いメッセージが心に残る作品です。

音楽: レオ・ドリーブ

振付: ローラン・プティ

芸術アドバイザー/ステージング: ルイジ・ボニーノ

美術・衣裳: エツイオ・フリジェーリオ

照明: ジャン=ミッシェル・デジレ

指揮者: 富田実里

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Music by Léo DELIBES

Choreography by Roland PETIT

Artistic Advisor/Staging: Luigi BONINO

Set and Costume Designer: Ezio FRIGERIO

Lighting Designer: Jean-Michel DÉSIÉ

Conductor: TOMITA Misato

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

ものがたり

人気者の衛兵たちと街の女の子で賑わうマルセイユの広場。スワニルダはフランツに夢中だが、フランツの方は気もそぞろ。彼は、コッペリウスの子のバルコニーに座っているクールな美少女コッペリアに心惹かれているのだ。

「彼を惑わすコッペリアってどんな女の子なの？」居てもたっていられないスワニルダは、コッペリウスが落とした鍵を拾い、その留守宅に友人たちと忍び込む。

人形の腕や足などの部品が無数に置かれているコッペリウスの子の家。帰宅したコッペリウスは、スワニルダたちを追い出すと、コッペリアとシャンパンで乾杯。愛しそうに彼女の手を取りワルツを踊る。だが何をしてもコッペリアは無表情。それもそのはず、彼女はコッペリウスが作った自動人形だった。ダンディな紳士コッペリウスの子の秘密はそれだけではない。彼は、若いスワニルダに想いを寄せ、彼女そっくりに作った人形で、孤独を慰めていたのだった。

そこにコッペリアに会おうとフランツが忍び込んできた。コッペリウスは、彼を眠らせ、その魂を抜き出しコッペリアに注入。彼女を人間にしようというのだ。すると本当にコッペリアが動き出したではないか！コッペリアは気ままにふるまいコッペリウスを翻弄する。実はこれにはからくりがあった。スワニルダがコッペリアの振りをしていたのだ。真相が明らかになると、フランツは自分の本当の気持ちに気が付く。幸せな若いカップルは友人たちの祝福を受けるが、愛するものを失ったコッペリウスは独り茫然と立ち尽くすのだった。



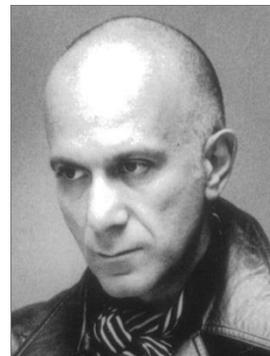
2017年公演より（撮影：鹿摩隆司）

スタッフ プロフィール

振付:ローラン・プティ

Choreography by Roland PETIT

パリ生まれ。オペラ座バレエ学校で学んだ後、パリ・オペラ座バレエに入団。当時芸術監督だったセルジュ・リファールらに才能を認められるが、自由な創作の場を求めて20歳の時に退団。ジャン・コクトー、パブロ・ピカソなどの芸術家、知識人と交流しながら『若者と死』(1946年)、『カルメン』(49年)などの力作を次々と発表し、一躍時代の寵児となった。50～60年代には映画やミュージック・ホール、テレビの分野に精力を傾け、パリ・オペラ座バレエに振り付けた『ノートルダム・ド・パリ』(65年)以降さらに自由で洗練された表現に結びついていく。72年にマルセイユ・バレエの芸術監督に招かれ、98年に同団を退くまで、『アルルの女』『ブルースト』(74年)『長靴をはいた猫』(85年)『マ・パヴロヴァ』(86年)など、多くの新作を発表。ダンサーとしても独自の存在感を発揮。プティが生み出すバレエの魅力はパリっ子らしい軽妙洒脱さ、小粋さにあると言われ、バレエ一筋の経歴ではなくミュージカルやレビューなどを手掛けた経験が自由さや柔軟さを作り出す。01年ボリショイ劇場での『スペードの女王』の制作などに対して、ロシアの最高国家章をフランス人で初めて受章した。2011年7月10日、スイスのジュネーヴで死去。



芸術アドバイザー/ステージング:ルイジ・ボニーノ

Artistic Advisor/Staging: Luigi BONINO

イタリアのブラ生まれ。10歳の時にトリノでバレエを始める。1973年にクルベリ・バレエに入団し、プリンシパル・ダンサーとして『ロメオとジュリエット』などを踊る。75年にローラン・プティのマルセイユ・バレエに移籍。以来、『コッペリア』のコッペリウス、『若者と死』、『ノートルダム・ド・パリ』のフロロ、『こうもり』のウルリックなど、『長靴をはいた猫』の猫、『眠れる森の美女』のカラボスなど、数々のプティ振付作品を踊る。これまでにマーゴ・フォンテイン、ジジ・ジャンメール、ナタリヤ・マカロワ、カルラ・フラッチなどと共演。また91年にマルセイユで初演の『ダンシング・チャップリン』では彼の個性が遺憾なく発揮され好評を得た。プティ作品の指導をまかされており、ナポリのサンカルロ歌劇場、ミラノ・スカラ座、パリ・オペラ座バレエ、牧阿佐美バレエ団、ボリショイ劇場などによる公演で、プティを補佐してきた。新国立劇場へは2002年ローラン・プティの『こうもり』初演で振付指導をおこなうと同時にウルリック役でも出演。軽やかな身のこなしと絶妙の演技でプティ・バレエの真髄を体現してみせた。その後、『こうもり』再演での振付指導に続き、新国立劇場バレエ団でのプティ『コッペリア』の上演でコッペリウスを踊り、振付指導も行った。



美術・衣裳:エツイオ・フリジューリオ

Set & Costume Designer: Ezio FFIGERIO

建築を学んだ後、ミラノのピッコロ・テアトロで衣裳製作を手がけたことから舞台芸術分野にかかわるようになる。アート・ディレクターとプロデューサーも担当し、ピランデルロ『山の巨人たち』、ブレヒト『屠殺場の聖ヨハンナ』、シェイクスピア『リア王』、パリ・オデオン座で初演のメルネイ『舞台は夢』、フィリッポ『大魔術』など重要な戯曲作品から独特の舞台を立ち上げる。オペラの美術デザインとしてはパリ・オペラ座でリリアーナ・カヴァーニが演出したケルビーニ『メディア』、モネ劇場のシュトラウス『エレクトラ』(ヌリア・エスペル演出)、ミラノ・スカラ座のヴェルディ『エルナーニ』(ルーカ・ロンコーニ演出)など、映画の美術も手がけラブノー監督の『シラノ・ド・ベルジュラック』では1990年アカデミー美術賞にノミネートされている。



照明:ジャン・ミシェル・デジレ

Lighting Designer: Jean-Michel DÉSIRES

マルセイユ生まれ。地元マルセイユのオペラ劇場に就職し、プティと出会う。マルセイユ・バレエのツアーに同行して世界各地を回り、プティの妻ジジ・ジャンメールのショー公演にも参加する。1996年、プティがミラノ・スカラ座のカルラ・フラッチのために振り付けた『シェリ』で照明を担当。同年のパリ・オペラ座バレエでの『ノートルダム・ド・パリ』再演、その後スカラ座、牧阿佐美バレエ団、ブエノスアイレスのコロン劇場での同作品上演にあたり照明を監修する。以後、マルセイユ国立バレエでの仕事を経てプティとの仕事を再開、『アルルの女』『プルースト』『デューク・エリントン・バレエ』『スペードの女王』など、世界各地のバレエ団でプティ振付作品が上演される際にスタッフとして参画している。



指揮:富田実里

Conductor: TOMITA Misato

※9ページ『白鳥の湖』を参照



ライモンダ

2021年 6/5~13
レパートリー
Repertoire

Raymonda

オペラパレス | 5回公演

●会員先行販売期間: 2021年 2/6(土)~2/16(火)

●一般発売日: 2021年 2/20(土)

2021年 6/5(土) 14:00、6(日) 14:00、8(火)~11(金)のうち1日程、12(土) 14:00、13(日) 14:00

料金 S:13,200円 A:11,000円 B:7,700円 C:4,400円 D:3,300円

当作品はアレクサンドル・グラズノフの音楽が大変美しい中世十字軍の時代の物語で、プティパ最後の傑作といわれる古典バレエです。新国立劇場では、この格調高い古典名作『ライモンダ』を2004年に初演。牧阿佐美の格調の高い振付と演出、現代的でスピード感あふれるスペクタクルな舞台展開、そしてルイザ・スピナテッリの色彩が印象的な衣裳・装置は大変評判をよび、朝日舞台芸術賞を受賞。また、08年2月にはジョン・F・ケネディ・センター主催の日本フェスティバルで上演し好評を博しました。

音楽: アレクサンドル・グラズノフ

振付: マリウス・プティパ

改訂振付・演出: 牧 阿佐美

美術・衣裳: ルイザ・スピナテッリ

照明: 沢田祐二

指揮者: アレクセイ・バ克蘭

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Music by Alexander GLAZUNOV

Choreography by Marius PETIPA

Production by MAKI Asami

Set and Costume Designer: Luisa SPINATELLI

Lighting Designer: SAWADA Yuji

Conductor: Alexei BAKLAN

Orchestra: Tokyo Philharmonic Orchestra

ライモンダ

ものがたり

十字軍の遠征に出ているジャン・ド・ブリエンヌと密かに婚約の約束をしているライモンダは、再会を夢にみるほど彼の帰還を待ちわびている。サラセンの王アブデラクマンも、美しいライモンダを憎からず思っている。ライモンダの叔母である伯爵夫人の館で開かれた宴に招待されたアブデラクマンは宝石や数々のめずらしい踊りで彼女の気を引こうとするが、そこにジャン・ド・ブリエンヌが登場して、彼女をめぐる決闘となる。



2016年「ニューイヤー・バレエ」より第3幕（撮影：鹿摩隆司）

スタッフ プロフィール

振付:マリウス・プティパ

Choreography by Marius PETIPA

※16ページ『ニューイヤール・バレエ』を参照



演出・改訂振付:牧 阿佐美

Production by MAKI Asami

日本バレエ界の草分けの一人、橘秋子の長女として生まれる。4歳で初舞台を踏み、20歳の時に米国に留学、A.ダニロフ、I.シュヴェツツオフに師事。その後、橘バレエ団を基礎に、橘秋子と共に牧阿佐美バレエ団を設立し、プリマ・バレリーナとして数々の作品に主演。1960年には、日本で初めて外国人ダンサーを相手役に全幕バレエ『コッペリア』を踊り、絶賛を浴びる。橘秋子の没後はその遺志を継いで舞台を退き、牧阿佐美バレエ団主宰者、橘バレエ学校校長となり、その卓抜した指導力で、日本を代表する舞踊手を数多く世に送り出す。また振付家としても活躍する一方、海外より多数の著名な指導者や振付家を招き、国際共同による質の高い舞台制作を手がけている。ニムラ賞、芸術選奨文部大臣賞、東京新聞舞踊芸術賞、舞踊批評家協会賞、橘秋子賞特別賞を受賞。1996年秋には、多年にわたり数多くの作品を振り付け、発表し続けた功績により紫綬褒章を受章。2004年2月フランス政府から芸術文化勲章シュヴァリエを受ける。08年5月には日本人として初めてブノワ賞の審査にあたった。08年に文化功労者に選ばれた。振付家としての主な経歴は、1965年『火の鳥』、67年『眠れる森の美女』をI.シュヴェツツオフと共同振付して主役を踊り、衣裳デザインも自ら手がけて上演した。68年には振付家として本格的にデビューし、黛敏郎作曲『ブガク』、芥川也寸志作曲『トリブティック』、團伊玖磨作曲の『シルクロード』を振付して注目された。95年に『ロメオとジュリエット』、98年に『椿姫』をA.プリゼツキーと共同振付して絶賛を浴びた。新国立劇場バレエ団への全幕物の演出・改訂振付第1作目として 2000年11月に『ラ・バヤデール』を手掛け好評を博した。第2作目は 04年10月に『ライモンダ』全幕改訂振付、この作品で朝日舞台芸術賞を受賞した。第3作目に06年11月に『白鳥の湖』を改訂振付・演出し、高い評価を得た。07年には新国立劇場完全オリジナルの『椿姫』の振付・演出にあたり、第7回朝日舞台芸術賞を受賞。1999年から2010年まで新国立劇場舞踊芸術監督を務め、ジョン・F・ケネディ・センター公演（「ジャパン・フェスティバル」参加）とモスクワ・ボリショイ劇場公演『椿姫』の海外公演を大成功に導くなどバレエ団の育成と発展に大きく寄与した。現在、新国立劇場バレエ研修所長。



美術・衣裳:ルイザ・スピナテリ

Set and Costume Designer: Luisa SPINATELLI

イタリア・ミラノ生まれ。ブレラの美術学校で舞台美術を学んだ後、1965年ミラノ・スカラ座で舞台美術家としてデビュー。衣裳デザイナーとしてミラノ・ピッコロ劇場『セツァンの善人』、ミラノ・スカラ座オペラ『アッティラ』『運命の力』『カルメン』『アイダ』など、バレエではトリノ・レージョ劇場『ロメオとジュリエット』、ヴェローナ野外劇場『くるみ割り人形』などを手がける。近年はミラノ・スカラ座バレエ『赤と黒』、ベルリン州立歌劇場『白鳥の湖』『くるみ割り人形』、パリ・オペラ座バレエ『パキータ』、英国ロイヤルバレエ『眠れる森の美女』などを手がける。ローラン・プティ振付の『マ・パヴロヴァ』『恋する悪魔』『スペードの女王』などに参画。新国立劇場バレエでは『こうもり』『ライモンダ』『椿姫』の舞台美術・衣裳を手がける。89年レオニード・マシーン賞、05年橘秋子賞舞台クリエイティブ賞受賞。

**照明:沢田祐二**

Lighting Designer: SAWADA Yuji

※13ページ『くるみ割り人形』を参照

**指揮:アレクセイ・バクラン**

Conductor: Alexei BAKLAN

※13ページ『くるみ割り人形』を参照



2020新国フェス ～とどけ！舞台の魔法～
新国立劇場 こどものためのバレエ劇場 2020

2020年 7/25～28
＜新制作＞
New Production

竜宮 りゅうぐう

～^{とき}亀の姫と季の庭～

RYUUGUU - The Turtle Princess

オペラパレス | 8回公演

●会員先行販売期間：2020年 4/5(日)～4/14(火)

●一般発売日：2020年 4/18(土)

2020年 7/25(土) 11:30 / 15:00、26(日) 11:30 / 15:00、27(月) 11:30 / 15:00、28(火) 11:30 / 15:00

料金 こども(4歳から小学生):2,200円 / 大人(中学生以上):3,300円

新国立劇場では、次世代を担う子どもたちが、優れたバレエ芸術に触れられる機会を提供する目的で、2009年より「新国立劇場 こどものためのバレエ劇場」を実施してまいりました。

2020年の夏は、これまでに『サーカス』『NINJA』など、大人もこどもも楽しめるダンス作品を生み出してきた森山開次が、御伽草子の「浦島太郎」をモチーフに、新国立劇場バレエ団のダンサーたちと共に新しいバレエ作品を創り上げ、オペラパレスで上演いたします。

豪華絢爛な竜宮城には、愉快的海の生き物たちがいて太郎をもてなし、春夏秋冬の美しい四季が堪能できる不思議な季(時)の部屋があります。そして故郷に帰った太郎を待っていた運命とは？

森山開次の手がける日本をテーマにしたバレエ・ファンタジーは、お子さまだけでなく、大人のバレエファンにもきつとご満足いただけることでしょう。

音楽：松本淳一

演出・振付：森山開次

美術・衣裳デザイン：森山開次

映像：ムーチョ村松

照明：櫛田晃代

振付補佐：貝川鐵夫

湯川麻美子

Music by MATSUMOTO Junichi

Choreography by MORIYAMA Kaiji

Set and Costume Designer: MORIYAMA Kaiji

Video Designer: Mucho MURAMATSU

Lighting Designer: KUSHIDA Akiyo

Assistants to the Choreographer: KAIKAWA Tetsuo,

YUKAWA Mamiko

ものがたり

【第一幕】

むかしむかし ある島に 浦島太郎という心の優しい青年がいました。

ある日、浜辺で子ども達が亀を面白がっていじめるのを見た太郎は、亀を助け、海に逃してやりました。その晩、太郎は、風を切り、光を放ち、大空を飛んでいる不思議な夢を見ます。次の朝、波の中から昨日助けた亀が現われて言います「お礼に、竜宮城にご招待をさせていただきます。」亀の背中に乗って、いざ海の旅へ出ると、波が二人を運び、魚たちと光がきらめいて、水と空の二重の風景が太郎を包んでいます。

この亀は、竜宮城のプリンセスだったのです。辿りついた竜宮城では楽しい宴が始まり、美味しいお酒と料理、魚たちの歌と踊りで太郎は厚い接待を受けます。とりわけ亀の姫の舞は、妙なる美しさでした。心の優しい太郎に惹かれた姫と太郎は互いに心を寄せ合い、恋に落ちます。

そして時は瞬く間に過ぎていきました。

【第二幕】

亀の姫と夢のような時を過ごす太郎は、竜宮城に「季(とき)の部屋」があるのを知ります。

その部屋の四方の襖の向こうには、それぞれの四季の庭が広がっていて、四季の美しさを一度に堪能できるのです。長い時間入ってはいけないこの部屋に「少しだけ…」と入ってしまった太郎は、日本の四季に感動し、故郷の美しさをあらためて思い出します。我に帰った太郎は「故郷に帰らなければ」という思いを亀の姫に伝えます。泣く泣くその思いを受け入れた姫は、玉手箱を太郎に授け、別れを告げるのでした。「この玉手箱は、竜宮城に受け継がれてきた、大切な宝の箱。あなたへの愛の証をこの箱に閉じこめました。でも、決して開けてはいけません。」

太郎は、再び波に運ばれて海を進み、気がつくと、浜辺に倒れていました。

あたりを見回すと、寂しげな気配。そこは、700年の歳月が流れた故郷(ふるさと)の浜辺でした。人影はなく、老松だけが佇み、子ども達の声も聞こえません。途方にくれた太郎は、抱えていた玉手箱を開けてしまいます。すると、玉手箱から煙が立ち上り、みるみるうちに太郎は老人になってしまうのです。年老いた太郎は、涙しながら全てを受け入れて行きます。「時の流れの中で生きる、限りある命のこと」「すべてを産んでくれた偉大な母なる海のこと」を。

そして太郎は鶴に姿を変え、大空に飛び立ちます。風を切り、光を放ち、空を飛ぶ明神となった太郎。「あの時みた夢は、このことだったのか！」そこへ、亀の神となった亀の姫があらわれます。亀の姫は鶴の浦島太郎とともに、この島の夫婦(めおと)明神(みょうじん)として、未来永劫、島の民の守り神となりました。

めでたし めでたし！

スタッフ プロフィール

演出・振付: 森山開次

Choreography by MORIYAMA Kaiji

21歳でダンスを始め、2001年ソロ作品の発表を開始。05年『KATANA』で「驚異のダンサー」（ニューヨークタイムズ紙）と評され、07年ヴェネチアビエンナーレ招聘。12年発表の新国立劇場ダンス公演『曼荼羅の宇宙』にて芸術選奨文部科学大臣新人賞、江口隆哉賞、松山バレエ団顕彰・芸術奨励賞を受賞。13年文化庁文化交流使。18年KAAT 神奈川芸術劇場『不思議の国のアリス』全国17都市ツアー、19年『ドン・ジョヴァンニ』にてオペラ初演出。『情熱大陸』『からだであそぼ』などメディア出演多数。令和2年度版小学校「書写」教科書（光村書店）編集協力。空中に文字を書く「空書き」教材の監修を担当した。

15年・18年『サーカス』、19年『NINJA』でも演出・振付・アートディレクションを手がけ、主演。新国立劇場・小劇場をはじめ全国の劇場で上演し、世代を超えて多くの観客を魅了し続けている。

<http://kaijimoriyama.com>



©石塚定人



竜宮イメージ画 by 森山開次

Dance

2020/2021 シーズン ダンス ラインアップ
〈計 3 演目 9 公演〉

2020 年 11 月

中村恩恵×首藤康之×新国立劇場バレエ団

Shakespeare THE SONNETS

2 回公演

2021 年 3 月

ダンス・コンサート

舞姫と牧神たちの午後 2021

4 回公演

2021 年 7 月

Co.山田うん

オバケッタ

3 回公演

中村恩恵×首藤康之×新国立劇場バレエ団

2020年 11/28~29
<レパートリー>
Repertoire

Shakespeare THE SONNETS

シェイクスピア「ソネット」

●会員先行販売期間：2020年9/13(日)~9/22(火・祝)

●一般発売日：2020年9/26(土)

中劇場 | 2回公演

2020年11/28(土) 14:00、29(日) 14:00

料金 S:6,600円 A:4,400円

中村恩恵と首藤康之は、シェイクスピアの「ソネット」集に題材を取り、「詩人、ダークレディ、美青年」に加え「ロメオとジュリエット」「オセロ」「真夏の夜の夢」「ヴェニスの商人」などの登場人物を通して、光と闇の世界を中劇場の舞台に描き出し、絶賛を浴びました。2011年に初演以来、全国の劇場にて再演されている本作に、今回は新国立劇場バレエ団のダンサーたちも出演します。

なお、2020年秋はオペラ、舞踊(ダンス)、演劇の全3部門でシェイクスピアに関連した作品を上演します。

構成・演出・美術原案：中村恩恵、首藤康之

Direction & Original Set Design by

NAKAMURA Megumi and SHUTO Yasuyuki

振付：中村恩恵

Choreography by NAKAMURA Megumi

音楽：ディルク・P・ハウブリッヒ

Music by Dirk P. HAUBRICH

照明：足立 恒

Lighting Designer: ADACHI Hisashi

音響：内田 誠

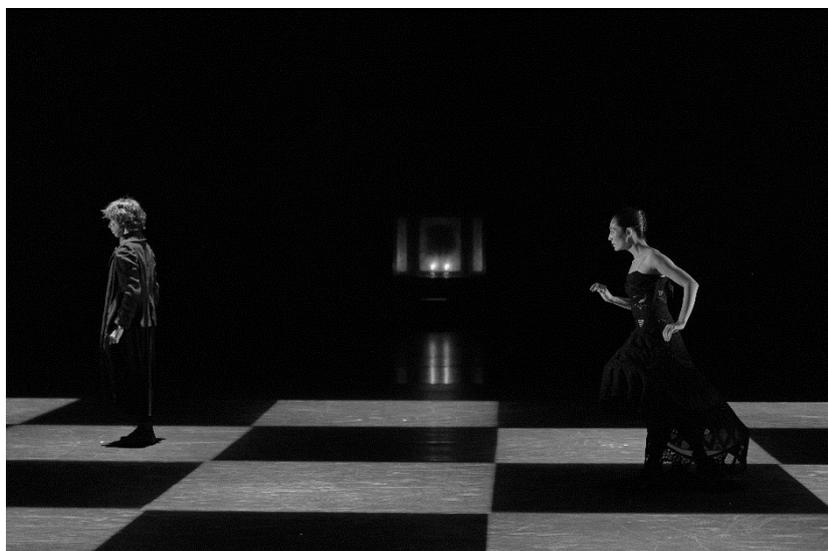
Sound Designer: UCHIDA Makoto

出演：渡邊峻郁、小野絢子(28日)

Performance: WATANABE Takafumi, ONO Ayako (28th Nov.)

首藤康之、米沢 唯(29日)

SHUTO Yasuyuki, YONEZAWA Yui (29th Nov.)



2011年公演より(撮影：鹿摩隆司)

スタッフ プロフィール

振付:中村恩恵

Choreography by NAKAMURA Megumi

第17回ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル賞を受賞後、モンテカルロバレエ団を経て、イリ・キリアン率いるネザーランド・ダンス・シアターに所属し活躍。07年に日本へ活動の拠点を移した後も、ダンサー・振付家として、新国立劇場バレエ団、Kバレエカンパニー、Noism07、エルヴェ・モローなどに作品を提供。首藤康之との創作活動も積極的に行っており、『Shakespeare THE SONNETS』（新国立劇場）など多くの作品を上演。16～19年新国立劇場バレエ団「DANCE to the Future」のアドヴァイザーを務め、17・19年『ベートーヴェン・ソナタ』、19年『火の鳥』を上演。また、キリアン作品のコーチも務め、パリ・オペラ座バレエをはじめ世界各地のバレエ団や学校の指導にあたる。Golden Theater Prize、第61回芸術選奨文部科学大臣賞、第62回横浜文化賞、第31回服部智恵子賞、18年紫綬褒章、第67回神奈川文化賞など受賞多数。



©大河内 禎

構成・演出・美術原案・出演:首藤康之

Direction, Original Set Design & Performance by SHUTO Yasuyuki

15歳で東京バレエ団に入団、19歳で『眠れる森の美女』王子役で主役デビュー。数々の古典作品をはじめ、モーリス・ベジャール振付『M』、『ボレロ』、マシュー・ボーン振付『SWAN LAKE』ほか、ジョン・ノイマイヤー、イリ・キリアンなど世界的現代振付家の作品に多数主演。

2004年の退団後も、シディ・ラルビ・シェルカウイ、ジョー・カラルコ、ウィル・タケット、マックス・ウェブスター、串田和美、白井晃、長塚圭史、小野寺修二など、国内外の振付家、演出家の作品に出演するほか、自らプロデュース公演も上演。また、ピナ・バウシュ芸術監督のNRW国際ダンスフェスティバルなどの海外公演にも多数出演。近年は中村恩恵との創作活動も積極的に行うほか、映画、TVドラマに出演するなど、表現の場を拓けている。第42回舞踊批評家協会賞を受賞。第62回芸術選奨文部科学大臣賞など受賞多数。



2021年 3/26~28

ダンス・コンサート 舞姫と牧神たちの午後 2021

Dance Concert Afternoon of Fauns and Nymphs 2021

小劇場 | 4回公演

●会員先行販売期間: 2021年 1/9(土)~1/20(水)

●一般発売日: 2021年 1/24(日)

2021年 3/26(金) 19:00、27(土) 13:00 / 18:00、28(日) 14:00

料金 A:6,600円 B:4,400円

日本を代表する新旧の振付家・ダンサーたちが、バレエ・コンサートのようにデュエットで競演し、お客様に「ダンス」そのものを楽しんでいただく公演です。新国立劇場では2003年、05年に同じ主旨で同名公演を上演しています。今回は4組のデュエットに加え、05年の公演で初演された名作『Butterfly』と新国立劇場バレエ団Choreographic Group から生まれた『Danae』の2作品に、新国立劇場バレエ団のダンサーたちが出演します。

出演: 酒井はな & 森山未来

Performance by SAKAI Hana & MORIYAMA Mirai

演出・振付: 島地保武

Direction and Choreography by SHIMAJI Yasutake

音楽・演奏: 藤元高輝(gt.)

Music by FUJIMOTO Koki(gt.)

出演・振付: 加賀谷 香 & 吉崎裕哉

Choreography and Performance by

KAGAYA Kaori & YOSHIZAKI Yuya

音楽・演奏: 坂出雅海

Music by SAKAIDE Masami

出演・振付: 山田うん & 川合ロン

Choreography and Performance by

YAMADA Un & KAWAI Llon

出演: 湯浅永麻 & 小尻健太

Performance by YUASA Ema & KOJIRI Kenta

舞姫と牧神たちの午後 2021

『Danae』

出演：木村優里&渡邊峻郁

振付：貝川鐵夫

(「DANCE to the Future 2019」にて初演)

音楽：J.S.バッハ

“Danae”

Performance by KIMURA Yuri & WATANABE Takafumi

Choreography by KAIKAWA Tetsuo

(Premiered at “DANCE to the Future 2019”)

Music by Johann Sebastian BACH

『Butterfly』

出演：新国立劇場バレエ団

(ダブルキャスト)

構成・演出：平山素子

振付：平山素子&中川 賢

音楽：マイケル・ナイマン、落合敏行

“Butterfly”

Performance by dancers of The National Ballet of Japan

Direction by HIRAYAMA Motoko

Choreography by HIRAYAMA Motoko &

NAKAGAWA Satoshi

Music by Michael NYMAN, OCHIAI Toshiyuki

照明：杉浦弘之

音響：河田康雄

Lighting Designer: SUGIURA Hiroyuki

Sound Designer: KAWATA Yasuo

(順不同)



2005年公演より 『Butterfly』 中川賢、平山素子 (撮影：池上直哉)

出演者プロフィール

酒井はな
SAKAI Hana

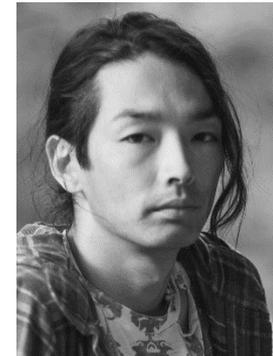
5才よりバレエを始め、畑佐俊明に師事。1988年橘バレエ学校に入学、牧阿佐美、三谷恭三に師事。93年牧阿佐美バレエ団入団、18才で『くるみ割り人形』主役デビュー。97年開場とともに新国立劇場開場バレエ団に移り、柿落とし公演『眠れる森の美女』にて森下洋子、吉田都と競演。以降同団プリンシパルとして数々の初演を含む主演を務める。優れた表現力と高い技術に品格の備わった、日本を代表するバレエダンサーのひとり。クラシックバレエを中心にコンテンポラリーダンスやミュージカルにも出演。2013年島地保武と共にダンス・ユニットAltneu<アルトノイ>を立ち上げ。レパートリーは古典バレエからN・デュアト、M・ゲッケ、C・シュクツプ等の現代作品まで幅広い。09年芸術選奨文部科学大臣賞、15年第35回ニムラ舞踊賞、17年紫綬褒章、18年第39回橘秋子賞特別賞ほか受賞歴多数。



©池谷 友秀

森山未来
MORIYAMA Mirai

1984年、兵庫県生まれ。演劇、映像、パフォーマンスアートなどのカテゴリーに縛られない表現者として活躍。2013年、文化庁文化交流使としてイスラエルに1年間滞在、インバル・ピント&アブシャロム・ボラックダンスカンパニーを拠点に、ヨーロッパ諸国で活動。近年の主なパフォーマンス作品として、『PLUTO』（振付・演出：シディ・ラルビ・シェルカウイ）、『凸し凹る』（大植真太郎、平原慎太郎との共作）、『SONAR』（ヨン・フィリップ・ファウストロムとの共作）、『Is it worth to save us?』（伊藤郁女との共作）、『Vessel』（振付：ダミアン・ジャレ 舞台美術：名和晃平）、『素晴らしい偶然をちらして』（辻本知彦との共作）など。miraimoriyama.com

加賀谷 香
KAGAYA Kaori

Dance-SHAN主宰。幼少より故藤井信子、川村泉のもとでモダンダンスを始め、コンクールでの受賞多数。内面の空間が広がる存在感あるダンサーとして評価が高く、ジャンルを超えた数々の作品に主要ダンサーとして客演、海外公演にも多数参加している。新国立劇場では、2003年「舞姫と牧神達の午後」にて森山開次との共作『弱法師』を発表。08年「DANCE EXHIBITION」公演ではソロ・ダンス『パレードの馬』を発表し、圧倒的な存在感と美しいダンスを見せた。後に同作品に於いて、江口隆哉賞受賞。Dance-SHANとして初登場した11年近松ダンス武題『エゴイズム』では、日本ダンスフォーラム賞を受賞し、15年に再演を果たした。近年、様々な舞台作品の振付を手掛ける他、舞踊コンクールなどの審査員も務める。



吉崎裕哉
YOSHIZAKI Yuya

19歳より金田誠一郎の元で踊り始める。2012年より6年間金森穰率いるNoismに所属し国内外30都市以上の公演に主要キャストとして出演。本公演以外にもNHKバレエの饗宴2015、BeSeTo演劇祭、NHKBSプレミアム京都異界中継、上野の森バレエホリデイ等にも出演。19年よりCo.山田うんに所属しながらも白井晃、キミホ・ハルバート、田尾下哲、中村しんじ、遠藤康行等の作品に出演。



山田うん
YAMADA Un

器械体操、バレエ、舞踏などを経験し、1996年から振付家として活動を始める。98年からはソロダンサーとしても活躍。ダンス活動と併行して、横浜STスポットにてダンスプログラムの企画制作を行い、99年文化庁派遣国内インターンシップ研修員として国内のダンス状況をリサーチする。2000年横浜ダンスコレクション・ソロ×デュオコンペティションにおいて「若手振付家のための在日フランス大使館賞」を受賞し渡仏。02年ダンスカンパニー“Co.山田うん”設立。オペラ、演劇、アニメの振付や、ファッションブランドやレストランなど他業界とダンスのコラボレーション、また世界各国のダンサー・振付家の育成を行うと同時に、ウィットに富んだソロパフォーマンス者としても活躍中。第8回日本ダンスフォーラム大賞、平成26年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。平成28年度文化庁文化交流使として11カ国23都市を訪問。



©HAL KUZUYA

川合ロン
KAWAI Ron

早稲田大学卒。2008年よりCo.山田うんに参加。以来カンパニー全作品の主要キャストとして出演すると同時に『結婚』『七つの大罪』『ゴールドベルグ変奏曲』等、山田うんと数々のデュオ作品を手掛け国内外ツアーを行っている。また、鈴木ユキオ、小野寺修二、北村明子、加藤みや子、インバル・ピント&アブシャロム・ポラック、池田扶美代、笈田ヨシ、ウィル・タケット等国内外で活躍する振付家・演出家のダンス作品、ミュージカル、オペラ、演劇、映画等にダンサー、俳優として出演し国内外ツアーに多数参加。さらに全国各地の小中学校、施設、劇場でのワークショップや子供達との作品作りなども行っている。



©HAL KUZUYA

湯浅永麻
YUASA Ema

ダンサー・振付家。バレエを池本恵美子の元で始め、モナコ公国プリンセスグレースアカデミーを首席卒業後、ネザーランド・ダンス・シアターに11年間所属。退団後、スウェーデン王立バレエのエック版『Juliet & Romeo』ジュリエット役、サシャ・ヴァルツ『Körper』等に客演。渡辺れい・小尻健太と共同でOptoとして活動、シディ・ラルビ・シェルカウイ率いるEASTMANにも所属し、数々の作品を踊る。弦楽四重奏団Kronos Quartet、ピアニスト向井山朋子、能楽師安田登、建築家田根剛、デザイナー廣川玉枝など多様なアーティストとコラボレーション作品を発表、2019年第13回日本ダンスフォーラム賞を受賞。国内外で多岐に渡って活動している。



© 柘植 伊佐夫

小尻健太
KOJIRI Kenta

ダンサー・振付家。1999年ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル・スカラシップ賞を受賞後、モナコ公国モンテカルロバレエ団、ネザーランド・ダンス・シアターに在籍。キリアン、フォーサイス、エック、ナハリン、パイト、エックマンなど世界的振付家の作品に出演。退団後、『TOKI』（日中韓芸術祭2013招聘）、『Study for Self/portrait』（原美術館）など創作活動をはじめ、オペラ、ミュージカル、フィギュアスケートの振付・指導、スウェーデン王立バレエ団、Noism、シルヴィ・ギエム「6000 Miles Away」などに客演。近年は、渡辺レイ、湯浅永麻とOptoを主宰するほか、さいたまダンス・ラボラトリ（彩の国さいたま芸術劇場）の講師/ナビゲーターを務める。



© Carl Thorborg

2021年 7/2~4

Co.山田うん オバケッタ

Co. YAMADAUN “Obachetta”

小劇場 | 3回公演

●会員先行販売期間：2021年4/11(日)~4/20(火)

●一般発売日：2021年4/24(土)

2021年7/2(金) 19:00、3(土) 14:00、4(日) 14:00

料金 A:こども(4歳から小学生)2,750円 / おとな(中学生以上)5,500円

B:こども(4歳から小学生)1,650円 / おとな(中学生以上)3,300円

ダンサー、振付家として国内外で活躍を続ける山田うんが主宰するCo. 山田うんは、日本を代表するコンテンポラリーダンスのカンパニーとして、『十三夜』『春の祭典』など意欲的に作品を発表し続けています。〈大人もこどもも楽しめるダンス作品〉として発表する新作のテーマは“死んだらみんなどこ行くの？”個性の際立つダンサーたちがあの世とこの世を行ったり来たり！妖怪や怪物になってどのように登場し、どんな踊りを見せてくれるのでしょうか。Co. 山田うんならではのオリジナル作品『オバケッタ』に、どうぞご期待ください。

振付・演出：山田うん

出演：Co.山田うん

Direction and Choreography by YAMADA Un

Performance: Co. YAMADAUN



2019年『プレリユード』公演より ©HAL KUZUYA

プロフィール

振付・演出:山田うん

Direction & Choreography by YAMADA Un

※39ページ『舞姫と牧神たちの午後 2021』を参照



©HAL KUZUYA

出演:Co.山田うん

Performance by Co. YAMADAUN

2002年設立の山田うん率いるダンスカンパニー。鋭敏な感覚と野生的な肉体を持つ多彩なダンサーが常に十数名所属し、圧倒的なチームワークと個性が際立つ。国内各地での舞台、ワークショップ、海外ではアジア、中東、欧州、アメリカなどで共同製作や招聘公演が後を絶たず、日本を代表するコンテンポラリーダンスのカンパニーとして世界中から注目を集めている。ダンス公演以外にもオペラ、ミュージカルの出演や音楽や伝統芸能とのコラボレーション、イベントプロデュースなどマルチな活動を展開。また全国の自治体や劇場と連携したツアーや学校、福祉施設でのワークショップ、まちづくりや特産品PR、飲食、ファッション、ITなど他業界と手を組み未来に向けてアートと観客、アーティストと社会の新しい関係を生み出している。

Ballet

公演一覧

開場記念公演～2019/2020 シーズン

| シーズン | 公演 | 振付 | 改訂振付・ステージング等 | 音楽 | 公演初日 |
|----------------------------|--------------------------|--------------------|---------------------------|---------------------|------------|
| 開場記念公演 | 眠れる森の美女* | M.プティパ | K.セルゲーエフ O.ヴィノグラードフ | P.チャイコフスキー | 1997.10/24 |
| | くるみ割り人形* | L.イワノフ | V.ワイノーネン G.ゴームレワ | P.チャイコフスキー | 1997.12/18 |
| | 梵鐘の聲 ～平家物語より* | 石井 潤 | | 石井真木 | 1998. 2/01 |
| 1998/ 1999 | 白鳥の湖* | M.プティパ/L.イワノフ | K.セルゲーエフ N.ドウジンスカヤ | P.チャイコフスキー | 1998. 5/26 |
| | ジゼル* | J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ | K.セルゲーエフ N.ドウジンスカヤ | A.アダン | 1998.10/28 |
| | くるみ割り人形 | L.イワノフ | V.ワイノーネン | P.チャイコフスキー | 1998.12/09 |
| | ドン・キホーテ* | M.プティパ/A.ゴルスキー | A.ファージェーチェフ | L.ミンクス | 1999. 3/18 |
| | トリプル・ビル | | | | 1999. 6/25 |
| | レ・シルフィード* | M.フォーキン | M.パーク | F.ショパン | |
| 踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ* ペトルーシュカ* | 佐多達枝 M.フォーキン | | W.A.モーツァルト I.ストラヴィンスキー | | |
| 1999/ 2000 | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワノフ | K.セルゲーエフ | P.チャイコフスキー | 1999.10/07 |
| | シンデレラ* | F.アシュトン | W.E.サムス | S.プロコフィエフ | 1999.12/04 |
| | トリプル・ビル | | | | 2000. 2/04 |
| | ラ・バヤデールより“影の王国”* | M.プティパ | 牧 阿佐美 | L.ミンクス | |
| | テーマとヴァリエーション* | G.バランシン | P.ニアリー | P.チャイコフスキー | |
| | ペトルーシュカ | M.フォーキン | J.オウドウ | I.ストラヴィンスキー | |
| | ドン・キホーテ | M.プティパ/A.ゴルスキー | A.ファージェーチェフ | L.ミンクス | 2000. 3/25 |
| | J-バレエ～ダンス・クレアション～ | | | | 2000. 5/19 |
| | 悲歌のシンフォニー～第3楽章* | 金森 稷 | | H.グレッツキ | |
| | 十二夜* | 石井 潤 | | G.マイネリオ ほか | |
| 舞姫* | 望月則彦 | | A.シュニトケ ほか | | |
| ラ・シルフィード* | A.ブルノンヴィル | S.エンゲルンド/大原永子 | H.ルーヴェンシュキョル | 2000. 6/29 | |
| テーマとヴァリエーション | G.バランシン | P.ニアリー | P.チャイコフスキー | | |
| 2000/ 2001 | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワノフ | K.セルゲーエフ | P.チャイコフスキー | 2000. 9/05 |
| | ラ・バヤデール* | M.プティパ | 牧 阿佐美 | L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー) | 2000.11/17 |
| | くるみ割り人形 | L.イワノフ | V.ワイノーネン | P.チャイコフスキー | 2000.12/22 |
| | シンデレラ | F.アシュトン | W.E.サムス | S.プロコフィエフ | 2001. 2/23 |
| | 眠れる森の美女 | M.プティパ | K.セルゲーエフ | P.チャイコフスキー | 2001. 4/26 |
| | トリプル・ビル | | | | 2001. 6/22 |
| | テーマとヴァリエーション | G.バランシン | P.ニアリー | P.チャイコフスキー | |
| リラの園* ライモンダ第3幕* | A.チューダー M.プティパ | D.マーラー 牧 阿佐美 | E.ショーン A.グラズノフ | | |

★＝新制作

| シーズン | 公演 | 振付 | 改訂振付・ステージング等 | 音楽 | 公演初日 |
|---------------|-------------------------------------|------------------|------------------|------------------------|------------|
| 2001/ 2002 | ロメオとジュリエット* | K.マクミラン | J.リンコン | S.プロコフィエフ | 2001.10/12 |
| | シンデレラ | F.アシュトン | | S.プロコフィエフ | 2001.12/21 |
| | 白鳥の湖 | M.ブティバ/ライワーノフ | K.セルゲーエフ | P.チャイコフスキー | 2002. 2/04 |
| | ミックス・プログラム | | | | 2002. 3/16 |
| | レ・シルフィード | M.フォーキン | M.パーク | F.ショパン | |
| | 四つの最後の歌* | R.V.ダンツィヒ | | R.シュトラウス | |
| | ドウエンデ* | N.ドウアト | T.ファーブル/K.マッカーシー | C.ドビュッシー | |
| | シンフォニー・イン・C* | G.バランシン | P.ニアリー | G.ビゼー | |
| リラの園 | A.チューダー | D.マーラー | E.ショーンソン | | |
| ドン・キホーテ | M.ブティバ/A.ゴルスキー | A.ファジェーチェフ | L.ミンクス | 2002. 5/17 | |
| ジゼル | J.コラリ/J.ペロー/M.ブティバ | K.セルゲーエフ | A.アダン | 2002. 6/25 | |
| 2002/ 2003 | こうもり* | R.ブティ | | J.シュトラウスII世(編曲 D.ガムレイ) | 2002. 9/22 |
| | J-パレエ〜ダンス・クレアシオン〜 | | | | 2002.11/15 |
| | String(s) piece* | 金森 穰 | | 池田亮司 | |
| | Nothing is Distinct* | 中島伸欣 | | 管谷昌弘 | |
| | FEELING IS EVERYWHERE* | 島崎 徹 | | J.S.バッハ ほか | |
| | くるみ割り人形 | L.イワーノフ | V.ワイノーネン | P.チャイコフスキー | 2002.12/21 |
| | ラ・バヤデール | M.ブティバ | 牧 阿佐美 | L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー) | 2003. 2/21 |
| | 白鳥の湖 | M.ブティバ/ライワーノフ | K.セルゲーエフ | P.チャイコフスキー | 2003. 5/16 |
| ラ・シルフィード | A.ブルノンヴィル | S.エングランド/大原永子 | H.ルーヴェンシュキョル | 2003. 6/27 | |
| パキータ* | M.ブティバ | M.ヴァジーエフ/L.クナコーワ | L.ミンクス | | |
| 2003/ 2004 | THE CHIC | | | | 2003.10/03 |
| | シンフォニー・イン・C | G.バランシン | | G.ビゼー | |
| | ジゼル/こうもり/ラ・バヤデール/ロメオとジュリエットよりバ・ド・ドゥ | | | | |
| | ジャルディ・タンカート* | N.ドウアト | | M.D.M.ボネ | |
| | マノン* | K.マクミラン | P.ルアンヌ/M.パーカー | J.マスネ(編曲 L.ルーカス) | 2003.10/29 |
| | シンデレラ | F.アシュトン | | S.プロコフィエフ | 2003.12/12 |
| | こうもり | R.ブティ | J.P.アルノー | J.シュトラウスII世(編曲 D.ガムレイ) | 2003.12/21 |
| | ロメオとジュリエット | K.マクミラン | J.リンコン | S.プロコフィエフ | 2004. 4/16 |
| 眠れる森の美女 | M.ブティバ | K.セルゲーエフ | P.チャイコフスキー | 2004. 6/04 | |
| 2004/ 2005 | ライモンダ* | M.ブティバ | 牧 阿佐美 | A.グラズノフ | 2004.10/15 |
| | くるみ割り人形 | M.ブティバ/ライワーノフ | V.ワイノーネン | P.チャイコフスキー | 2004.12/17 |
| | 白鳥の湖 | M.ブティバ/ライワーノフ | K.セルゲーエフ | P.チャイコフスキー | 2005. 1/07 |
| | エメラルド・プロジェクト No.1 カルメン* | 石井 潤 | | G.ビゼー(編曲 R.パーカー) | 2005. 3/25 |
| | 眠れる森の美女 | M.ブティバ | K.セルゲーエフ | P.チャイコフスキー | 2005. 4/29 |
| | ドン・キホーテ | M.ブティバ/A.ゴルスキー | A.ファジェーチェフ | L.ミンクス | 2005. 6/25 |

★=新制作

| シーズン | 公演 | 振付 | 改訂振付・ステージ等 | 音楽 | 公演初日 |
|---------------|--|----------------|-------------------------|---------------------------|------------|
| 2005/ 2006 | カルミナ・ブラーナ* | D.ピントレー | | C.オルフ | 2005.10/29 |
| | ライモンダ ～第1幕より夢の場 | M.ブティバ | 牧 阿佐美 | A.グラズノフ | |
| | くるみ割り人形 | L.イワーノフ | V.ワイノーネン | P.チャイコフスキー | 2005.12/16 |
| | 白鳥の湖 | M.ブティバ/L.イワーノフ | K.セルゲーエフ | P.チャイコフスキー | 2006. 1/07 |
| | ナチョ・ドゥアトの世界 | | | | 2006. 3/23 |
| | ドゥエンデ | N.ドゥアト | | C.ドビュッシー | |
| | ジャルディ・タンカート | | M.D.M.ボネ | | |
| | ポル・ヴォス・ムエロ* | | 15～16世紀スペインの古楽 | | |
| こもり | R.ブティ | L.ボニーノ | J.シュトラウスⅡ世(編曲 D.ガムレイ) | 2006. 5/19 | |
| ジゼル | J.コラリ/J.ペロー/M.ブティバ | K.セルゲーエフ | A.アダン | 2006. 6/24 | |
| 2006/ 2007 | ライモンダ | M.ブティバ | 牧 阿佐美 | A.グラズノフ | 2006.10/05 |
| | 白鳥の湖* | M.ブティバ/L.イワーノフ | 牧 阿佐美 (K.セルゲーエフ版による) | P.チャイコフスキー | 2006.11/12 |
| | シンデレラ | F.アシュトン | W.E.サムス | S.プロコフィエフ | 2006.12/15 |
| | 眠れる森の美女 | M.ブティバ | K.セルゲーエフ O.ヴィングラードフ | P.チャイコフスキー | 2007. 2/01 |
| | エメラルド・プロジェクト No.2 オルフェオとエウリディーチェ* | D.ウオルシュ | | C.W.グルック (編曲 D.ガルフォース) | 2007. 3/21 |
| | コッペリア* | R.ブティ | L.ボニーノ | L.ドリーブ | 2007. 5/13 |
| | ドン・キホーテ | M.ブティバ/A.ゴルスキー | A.ファジェーチェフ | L.ミンクス | 2007. 6/28 |
| 2007/ 2008 | オペラ・バレエ ガラ公演 | | | | 2007.10/01 |
| | セレナーデ* | G.バランシン | | P.チャイコフスキー | |
| | 椿姫* | 牧 阿佐美 | | E.ベルリオーズ | 2007.11/04 |
| | くるみ割り人形 | L.イワーノフ | V.ワイノーネン | P.チャイコフスキー | 2007.12/19 |
| | ニューイヤール オペラパレスガラ | | | | 2008. 1/05 |
| | アンド・ワルツ* | 牧 阿佐美 | | M.ラヴェル | |
| | 「こもり」から「グラン・カフェ」 | R.ブティ | | J.シュトラウスⅡ世 | |
| | カルメン | 石井 潤 | | G.ビゼー(編曲 R.バーカー) | 2008. 3/27 |
| | ラ・バヤデーレ | M.ブティバ | 牧 阿佐美 | L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー) | 2008. 5/18 |
| | 白鳥の湖 | M.ブティバ/L.イワーノフ | 牧 阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2008. 6/24 |
| 2008/ 2009 | アラジン* | D.ピントレー | | C.デイヴィス | 2008.11/15 |
| | シンデレラ | F.アシュトン | | S.プロコフィエフ | 2008.12/20 |
| | ライモンダ | M.ブティバ | 牧 阿佐美 | A.グラズノフ | 2009. 2/10 |
| | Ballet the Chic ーバランシン/サーブ/ドゥアトー | | | | 2009. 3/26 |
| | セレナーデ | G.バランシン | | | |
| | ポル・ヴォス・ムエロ | N.ドゥアト | K.マッカーシー | | |
| | ブッシュ・カムズ・トゥ・ショヴ* 空間の鳥* | T.サーブ 井口裕之 | E.クドー | | |
| | 白鳥の湖 | M.ブティバ/L.イワーノフ | 牧 阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2009. 5/19 |
| | コッペリア | R.ブティ | L.ボニーノ | L.ドリーブ | 2009. 6/26 |

★＝新制作

| シーズン | 公演 | 振付 | 改訂振付・ステージング等 | 音楽 | 公演初日 | |
|----------------------|---|--------------------|----------------|-----------------------|----------------|----------------|
| 2009/ 2010 | ドン・キホーテ | M.プティパ/A.ゴルスキー | A.ファジーチェフ | L.ミンクス | 2009. 10/12 | |
| | くるみ割り人形* | L.イワーノフ | 牧 阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2009. 12/20 | |
| | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワーノフ | 牧 阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2010. 1/17 | |
| | アンナ・カレーニナ* | B.エイフマン | | P.チャイコフスキー等 | 2010. 3/21 | |
| | カルミナ・ブラーナ | | | | 2010. 5/01 | |
| | カルミナ・ブラーナ | D.ピントレー | | C.オルフ | | |
| | ガラントゥリーズ* | D.ピントレー | | W.A.モーツァルト | | |
| 椿姫 | 牧 阿佐美 | | H.ベルリオーズ | 2010. 6/29 | | |
| 2010/ 2011 | ペンギン・カフェ | | | | 2010. 10/27 | |
| | ペンギン・カフェ* | D.ピントレー | | S.ジェフス | | |
| | シンフォニー・イン・C | G.バランシン | C.ニアリー | G.ビゼー | | |
| | 火の鳥* | M.フォーキン | D.ボナー | I.ストラヴィンスキー | 2010. 11/27 | |
| | シンデレラ | F.アシュトン | | S.プロコフィエフ | | |
| | ラ・バヤデル | M.プティパ | 牧 阿佐美 | L.ミンクス(編曲 J.ランチェベリー) | | 2011. 1/15 |
| | ダイナミック ダンス! (公演中止) | | | | | — |
| | コンチェルト・パロッコ* | G.バランシン | P.ニアリー | J. S.バッハ | | |
| | テイク・ファイヴ* | D.ピントレー | | D.ブルーベック/P.デズモンド | | |
| | イン・ジ・アッパー・ルーム* | T.サーブ | E.クドー | P.グラス | | |
| アラジン | D.ピントレー | | C.デイヴィス | 2011. 5/02 | | |
| ロメオとジュリエット | K.マクミラン | D.ケリー | S.プロコフィエフ | 2011. 6/25 | | |
| 2011/ 2012 | バレエ・オープニング・ガラ | | | | 2011. 10/01 | |
| | 「アラジン」から “序曲”砂漠への旅“財宝の洞窟” | D.ピントレー | | C. デイヴィス | | |
| | パド・ドゥ集:眠れる森の美女第3幕より シンフォニー・イン・C 第4楽章 | G.バランシン | | G.ビゼー | | |
| | パゴダの王子* | D.ピントレー | | B.ブリテン | 2011. 10/30 | |
| | くるみ割り人形 | L.イワーノフ | 牧 阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2011. 12/17 | |
| | こうもり | R.プティ | L.ボニーノ | J.シュトラウスII世(編曲D.ガムレイ) | 2012. 2/04 | |
| | アンナ・カレーニナ | B.エイフマン | | P.チャイコフスキー ほか | 2012. 3/16 | |
| | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワーノフ | 牧 阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2012. 5/05 | |
| | マノン | K.マクミラン | P.ルアンヌ/K.パーネット | J.マスネ(編曲 M.イエーツ) | 2012. 6/23 | |
| | 2012/ 2013 | シルヴィア* | D.ピントレー | | L.ドリーブ | 2012. 10/27 |
| シンデレラ | | F.アシュトン | W.E.サムス | S.プロコフィエフ | 2012. 12/15 | |
| ダイナミック ダンス! | | | | | 2013. 1/24 | |
| コンチェルト・パロッコ* | | G.バランシン | D.フーヴァー | J.S.バッハ | | |
| テイク・ファイヴ* | | D.ピントレー | | D.ブルーベック/P.デズモンド | | |
| イン・ジ・アッパー・ルーム* | | T.サーブ | E.クドー | P.グラス | | |
| ジゼル | | J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ | K.セルゲエフ | A.アダン | 2013. 2/17 | |
| ペンギン・カフェ 2013 | | | | | 2013. 4/28 | |
| シンフォニー・イン・C | | G.バランシン | P.ボーズ | G.ビゼー | | |
| E=mc ² * | | D.ピントレー | | M.ハインドソン | | |
| ペンギン・カフェ | D.ピントレー | | S.ジェフス | | | |
| ドン・キホーテ | M.プティパ/A.ゴルスキー | A.ファジーチェフ | L.ミンクス | 2013. 6/22 | | |

★=新制作

| シーズン | 公演 | 振付 | 改訂振付・ステージング等 | 音楽 | 公演初日 | |
|---------------------------|--------------------------------|-----------------------|---------------------------|--------------------------------------|------------|------------|
| 2013/ 2014 | バレエ・リュス ストラヴィンスキー・イブニング | | | I.ストラヴィンスキー | 2013.11/13 | |
| | 火の鳥 | M.フォーキン | D.ボナー | | | |
| | アポロ* 結婚* | G.バランシン B.ニジンスカ | B.ヒューズ C.ニュートン/C.サンダース | | | |
| | くるみ割り人形 | L.イワノフ | 牧 阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2013.12/17 | |
| | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワノフ | 牧 阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2014. 2/15 | |
| | シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメンツ | | | | 2014. 3/18 | |
| | 暗やみから解き放たれて* | J.ラング | | Ó.アルナルズ/N.フラーム J.クレイマー/J.メトカーフ | | |
| | 大フーガ* シンフォニー・イン・スリー・ムーヴメンツ* | H.V.マーネン G.バランシン | M.ヴェネーマ B.ヒューズ | L.v.ベートーヴェン I.ストラヴィンスキー | | |
| | ファスター／カルミナ・ブラーナ | D.ピントレー | | | 2014. 4/19 | |
| | ファスター* | | | M.ハインドソン | | |
| カルミナ・ブラーナ | | | C.オルフ | | | |
| パゴダの王子 | D.ピントレー | | B.プリテン | 2014. 6/12 | | |
| 2014/ 2015 | 眠れる森の美女* | M.プティパ/W.イーグリング | | P.チャイコフスキー | 2014.11/08 | |
| | シンデレラ | F.アシュトン | | S.プロコフィエフ | 2014.12/14 | |
| | ラ・バヤデル | M.プティパ | 牧阿佐美 | L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー) | 2015. 2/17 | |
| | トリプル・ビル | | | | 2015. 3/14 | |
| | テーマとヴァリエーション | G.バランシン | B.ヒューズ | P.チャイコフスキー | | |
| | ドゥエンデ トロイ・ゲーム* | N.ドゥアト R.ノース | K.マッカーシー J.モス | C.ドビュッシ B.ダウズ ほか | | |
| | こうもり | R.プティ | L.ボニーノ | J.シュトラウスⅡ世(編曲 D.ガムレイ) | 2015. 4/21 | |
| | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワノフ | 牧阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2015. 6/10 | |
| | 2015/ 2016 | ホフマン物語* | P.ダレル | K.バーク | J.オッフエンバック | 2015.10/30 |
| | | くるみ割り人形 | L.イワノフ | 牧阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2015.12/19 |
| ニューイヤール・バレエ | | | | | 2016. 1/09 | |
| セレナーデ | | G.バランシン | P.ニアリー | P.チャイコフスキー | | |
| フォリア | | 貝川鐵夫 | | A.コレリ | | |
| 「パリの炎」パ・ド・ドゥ | | V.ワイノーネン | | B.アサフィエフ | | |
| 「海賊」パ・ド・ドゥ | | M.プティパ | | R.ドリーゴ | | |
| タランテラ 「ライモンダ」より第3幕 | | G.バランシン M.プティパ | P.ニアリー 牧阿佐美 | L.M.ゴットシャルク A.グラズノフ | | |
| ラ・シルフィード／Men Y Men | | | | | 2016. 2/06 | |
| ラ・シルフィード Men Y Men* | | A.フルノンヴィル W.イーグリング | 大原永子 | H.ルーヴェンシュキョル S.ラフマニフ(編曲 G.サザーランド) | | |
| ドン・キホーテ | M.プティパ/A.ゴルスキー | A.ファジェーチェフ | L.ミンクス | 2016. 5/03 | | |
| アラジン | D.ピントレー | | C.デイヴィス | 2016. 6/11 | | |
| 2016/ 2017 | ロメオとジュリエット | K.マクミラン | P.ルアンヌ/K.バーネット | S.プロコフィエフ | 2016.10/29 | |
| | シンデレラ | F.アシュトン | | S.プロコフィエフ | 2016.12/17 | |
| | ヴァレンタイン・バレエ | | | | 2017. 2/17 | |
| | テーマとヴァリエーション | G.バランシン | B.ヒューズ | P.チャイコフスキー | | |
| | 「ドン・キホーテ」グランパ・ド・ドゥ | M.プティパ/A.ゴルスキー | | L.ミンクス | | |
| | 「白鳥の湖」第3幕より黒鳥のパ・ド・ドゥ | M.プティパ | | P.チャイコフスキー | | |
| | ソワレ・ド・バレエ* | 深川秀夫 | | A.グラズノフ | | |
| | タランテラ | G.バランシン | | L.M.ゴットシャルク | | |
| | トロイ・ゲーム | R.ノース | J.モス | B.ダウズ ほか | | |
| | コッペリア | R.プティ | L.ボニーノ | L.ドリーブ | 2017. 2/24 | |
| 眠れる森の美女 | M.プティパ/W.イーグリング | | P.チャイコフスキー | 2017. 5/05 | | |
| ジゼル | J.コラリ/J.ペロー/M.プティパ | K.セルゲーエフ | A.アダン | 2017. 6/24 | | |

★ = 新制作

| シーズン | 公演 | 振付 | 改訂振付・ステージング等 | 音楽 | 公演初日 |
|---------------|-------------------------------|----------------|----------------|---------------------|-------------|
| 2017/ 2018 | くるみ割り人形* | W.イーグリング | | P.チャイコフスキー | 2017. 10/28 |
| | シンデレラ | F.アシュトン | | S.プロコフィエフ | 2017. 12/16 |
| | ニューイヤールパレエ | | | | 2018. 1/6 |
| | パ・ド・カトル | J.ペロー | アントン・ドーリン | C.プーニ | |
| | グラン・パ・クラシック* | V.グゾフスキー | | F.オーベール | |
| | チャイコフスキー・パ・ド・ドゥ* | G.バランシン | | P.チャイコフスキー | |
| | シンフォニー・イン・C | G.バランシン | | G.ビゼー | |
| | ホフマン物語 | P.ダレル | | J.オッフエンバック | 2018. 2/09 |
| | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワーノフ | 牧阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2018. 4/30 |
| 眠れる森の美女 | M.プティパ/W.イーグリング | | P.チャイコフスキー | 2018. 6/09 | |
| 2018/ 2019 | 不思議の国のアリス* | C.ウィールドン | J.バレット/J.ファウラー | J.タルボット | 2018 11/02 |
| | くるみ割り人形 | W.イーグリング | | P.チャイコフスキー | 2018. 12/16 |
| | ニューイヤールパレエ | | | | 2019. 1/12 |
| | レ・シルフィード | M.フォーキン | | F.ショパン | |
| | 火の鳥* | 中村恩恵 | | I.ストラヴィンスキー | |
| | ペトルーシカ | M.フォーキン | D.ボナー | I.ストラヴィンスキー | |
| | ラ・バヤデー | M.プティパ | 牧阿佐美 | L.ミンクス(編曲 J.ランチベリー) | 2019. 3/02 |
| | シンデレラ | F.アシュトン | | S.プロコフィエフ | 2019. 4/27 |
| | アラジン | D.ビントレー | | C.デイヴィス | 2019. 6/15 |
| 2019/ 2020 | ロメオとジュリエット | K.マクミラン | P.ルアンヌ/K.パーネット | S.プロコフィエフ | 2019. 10/19 |
| | くるみ割り人形 | W.イーグリング | | P.チャイコフスキー | 2019. 12/14 |
| | ニューイヤールパレエ | | | | 2020. 1/11 |
| | セレナーデ | G.バランシン | P.ニアリー | P.チャイコフスキー | |
| | 『ライモンダ』よりパ・ド・ドゥ | M.プティパ | 牧阿佐美 | A.グラズノフ | |
| | 『海賊』よりパ・ド・ドゥ | M.プティパ | | R.ドリーゴ | |
| | DGV Danse à Grande Vitesse ©* | C.ウィールドン | J.ファウラー | M.ナイマン | |
| | マノン | K.マクミラン | P.ルアンヌ/K.パーネット | J.マスネ(編曲 M.イエーツ) | 2020. 2/22 |
| | ドン・キホーテ | M.プティパ/A.ゴルスキー | A.ファジェーチェフ | L.ミンクス | 2020. 5/02 |
| 不思議の国のアリス | C.ウィールドン | C.サンダース | J.タルボット | 2020. 6/05 | |

★ = 新制作

〈中学生のためのバレエ〉

| 年度 | 公演 | 振付 | 改訂振付・ステージング等 | 音楽 | 公演初日 |
|----------|------|---------------|--------------|----------------------|------------|
| 平成 20 年度 | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワノフ | 牧阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2008. 6/26 |
| 平成 21 年度 | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワノフ | 牧阿佐美 | P.チャイコフスキー | 2009. 5/20 |
| 平成 22 年度 | 椿姫 | 牧阿佐美 | | H.ベルリオーズ(編曲:E.フローリオ) | 2010. 6/30 |

〈こどものためのバレエ劇場〉

| 年度 | 公演 | 振付 | 改訂振付・ステージング等 | 音楽 | 公演初日 |
|----------|-------|---------------|------------------|-----------------------------|------------|
| 平成 21 年度 | しらゆき姫 | 小倉佐知子 | 三輪えり花 (構成・演出) | J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄) | 2009. 4/04 |
| 平成 22 年度 | しらゆき姫 | 小倉佐知子 | 三輪えり花 (構成・演出) | J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄) | 2010. 7/23 |
| 平成 24 年度 | シンデレラ | 小倉佐知子 | | S.プロコフィエフ | 2012. 7/27 |
| 平成 26 年度 | しらゆき姫 | 小倉佐知子 | 三輪えり花 (構成・演出) | J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄) | 2014. 7/25 |
| 平成 27 年度 | シンデレラ | 小倉佐知子 | | S.プロコフィエフ | 2015. 7/22 |
| 平成 28 年度 | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワノフ | 大原永子 (構成・演出) | P.チャイコフスキー | 2016. 7/21 |
| 平成 29 年度 | しらゆき姫 | 小倉佐知子 | 三輪えり花 (構成・演出) | J.シュトラウス 2 世 (音楽構成:福田一雄) | 2017. 7/27 |
| 平成 30 年度 | シンデレラ | 小倉佐知子 | | S.プロコフィエフ | 2015. 7/22 |
| 令和 元年度 | 白鳥の湖 | M.プティパ/L.イワノフ | 大原永子 (構成・演出) | P.チャイコフスキー | 2019. 7/27 |

〈地域招聘公演〉

| 年度 | 公演 | 振付 | 改訂振付・ステージング等 | 音楽 | 公演初日 |
|----------|--|-------------------------|------------------|---|------------|
| 平成 20 年度 | アンナ・カレーニナ (法村友井バレエ団) | A.プロコフスキー | | P.チャイコフスキー(編曲:G.ウールフェンデン) | 2009. 1/11 |
| 平成 22 年度 | 角兵衛獅子 (新潟シティバレエ) | 橘秋子 | 渡辺珠実 (ステージング) | 山内正 | 2010.12/19 |
| 平成 24 年度 | (貞松・浜田バレエ団) | | | | |
| | A プログラム くすみ割り人形 | M.プティパ/L.イワノフ | 貞松融/浜田蓉子 | P.チャイコフスキー | 2013. 1/12 |
| 平成 26 年度 | B プログラム 6DANCES Memoryhouse DANCE | I.キリアン 森優貴 O.ナハリン | | W.A.モーツァルト M.リヒター/A.バラネスク/P.ヴァスクス L.アルメイダ 他 | 2013. 1/14 |
| | Color of Dance (樋笠バレエ団) | | | | |
| 平成 26 年度 | バッハ・ア・ラ・トゥルカ ビトウイーン・トウー ムハマドフ 黒と白 彩の彼方 | メメット・バルカン | | J.バッハ、バッハ・アレンジメント E.アルダル W.A.モーツァルト E.アルダル E.アルダル | 2015. 1/11 |

Dance

公演一覧

開場記念公演～2019/2020 シーズン

| シーズン | 公演 | 振付・主演・演奏 等 | 公演初日 | |
|---------------|--|--|--|------------|
| 開場記念公演 | パノラマ展 A プログラム | | 1997.11/21 | |
| | ラブソディ リジェネレーション リゴドン ～死の舞踏 | 石井かほる 能美健志 庄司 裕 | | |
| | マスターワークス | | 1997.12/06 | |
| | 梟の唄 世界はバツハのように | 折田克子 西田 堯 | | |
| | パノラマ展 B プログラム | | 1998. 1/07 | |
| | 春の祭典 カウンターバランス ～現実をみるための空想～ 風市 | 竹内登志子 米井澄江 藤井 公 | | |
| 1998/ 1999 | ダンスプラネット No.1 コムヘリタキナ | 木佐貫邦子 | 1998. 4/24 | |
| | ダンスプラネット No.2 ありす | 中村しんじ | 1998. 9/25 | |
| | ダンステアトロン No.1 凡人 対 美貴 | | 1998.11/28 | |
| | ゆるやかなさかみち 礼儀正しい隠蔽 | 厚木凡人 若松美黄 | | |
| | ダンステアトロン No.2 FAUST | 平林和子 | 1999. 2/26 | |
| | ダンスプラネット No.3 エロスの部屋 ～黒い乳母車～ | 泉 克芳 | 1999. 4/23 | |
| 1999/ 2000 | ダンスプラネット No.4 現実との3分間／非現実との3分間 ～ピアソラへのオマージュ～ | 能美健志 | 1999. 9/24 | |
| | ダンステアトロン No.3 神曲 | 西田 堯 | 1999.11/27 | |
| | ダンスプラネット No.5 ダンスコンサート 舞姫たちの午後 | | | |
| | A プログラム Sequence of tenses 死と乙女 城壁の空高く、のぼる太陽・しずむ月 Hommage 墜ちたる天女 | 田保和里 軽部裕美 武元賀寿子 菊地純子 本間祥公 | 振付 二見一幸 振付 能美健志 演奏 斎藤 徹／井野信義 演奏 森田浩平 演奏 杉浦 聡 | 2000. 3/10 |
| | B プログラム ff-fortissimo あいだ カッサンドラダンス あなたの肩に頬寄せて 雲の上に草をうえる人 権兵衛が種をまけば… | 内田 香 北井千都代 地主律子 児玉敏子 川野真子 金井美三枝 | 演奏 馬場高望 振付 中村しんじ 演奏 香川隆樹／持丸 明／原 光弘 | 2000. 3/12 |
| | ダンスプラネット No.6 キングリア | 上田 遥 | 音楽・演奏 東儀秀樹／王 霄峰 | 2000. 6/09 |
| 2000/ 2001 | ダンスプラネット No.7 ピノッキオ | 中村しんじ | 2000. 9/22 | |
| | ダンステアトロン No.4 Raj Packet -everything but Ravi | 勅使川原三郎 | 音楽・演奏 SAND | 2000.12/16 |
| | ダンステアトロン No.5 Close the door,open your mouth HYPER BALLAD | 伊藤キム 山崎広太 | 音楽監督・演奏 伊藤康英 | 2001. 3/10 |
| | ダンスプラネット No.8 エヴァのひみつ | 石井かほる | | 2001. 6/15 |

| シーズン | 公演 | 振付・主演・演奏 等 | 公演初日 |
|---------------|--|---|------------|
| 2001/ 2002 | ダンスプラネット No.9 Signs:Landmark | モリサ・フェンレイ ピアノ演奏 高橋アキ | 2001. 9/28 |
| | Metamorphosis | 菊地純子 | |
| | ダンステアトロン No.6 森羅 | 野坂公夫 | 2001.12/01 |
| | 空間の詩学 | 正田千鶴 | |
| | ダンスプラネット No.10 伊藤キム作品集 Me and I / Butterfly and Me / あなた | 伊藤キム | 2002. 2/15 |
| | ダンステアトロン No.7 マーサへ ～空のなか 愛がふれあうとき～ | アキコ・カンダ | 2002. 6/15 |
| 2002/ 2003 | ダンスプラネット No.11 未来の空隙は響き | 構成・演出・美術 小池博史 | 2002. 9/20 |
| | ダンステアトロン No.8 Raj Packet II | 構成・振付・美術・衣裳・照明 勅使川原三郎 音楽・演奏 SAND | 2002.12/14 |
| | ダンスプラネット No.12 DANCE EXHIBITION 2003 | | |
| | Aプログラム DOROBO 泥棒 -再生の産声- the edge Figinto 穿たれた眼 | 石川ふくろう 永谷亜紀 カンパニー・サリア・ニ・セイドウ 振付 セイドウ・ポロ | 2003. 3/14 |
| | Bプログラム Against Newton ～ニュートンに逆らって 4×4 Figinto 穿たれた眼 | Dance Theatre LUDENS 構成・演出 岩淵多喜子 水と油 カンパニー・サリア・ニ・セイドウ 振付 セイドウ・ポロ | 2003. 3/16 |
| | ダンステアトロン No.9 EXPECT 東京ダンスホール | 木佐貴邦子 中村しんじ | 2003. 6/21 |
| 2003/ 2004 | ダンスプラネット No.13 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後 | | |
| | Giselle Espresso 弱法師 ロメオとジュリエット I & II シャコンヌ MAGUMA | 軽部裕美&島地保武 内田香&古賀豊 加賀谷香&森山開次 イ・ユンキョン&リュ・ソクン 平山素子&能美健志 蘭このみ&清水典人 特別出演 津村禮次郎 | 2003. 9/12 |
| | ダンステアトロン No.10 バレエ・プレルジョカージュ ヘリコプター／春の祭典 | アンジュラン・プレルジョカージュ | 2003.11/07 |
| | ダンスプラネット No.14 Against Newton II 騒ぐにはもってこいの日 | Dance Theatre LUDENS 武元賀寿子 構成・演出 岩淵多喜子 音楽・演奏 こまっちヤクヰズマ/太田恵資 | 2004. 2/13 |
| | ダンステアトロン No.11 Close the door, open your mouth 花の歴史 | 伊藤キム 伊藤キム 音楽監督・演奏 伊藤康英 | 2004. 5/15 |
| | ダンスプラネット No.15 DANCE EXHIBITION 2004 | | |
| 2004/ 2005 | Aプログラム Divining 月に歌うクジラ 冷めないうちに召し上がれ | リー・ウォーレン&ダンサーズ 川野眞子 内田 香 Rousewaltz ピアノ演奏 サイモン・テデスキ 総合演出 中村しんじ | 2004. 9/15 |
| | Bプログラム LOTUS 一花の咲く時季 OKINA Swerve | 浅野つかさ 森山開次 リー・ウォーレン&ダンサーズ 特別出演 津村禮次郎 打楽器演奏 バプロ・バーカッソー | 2004. 9/17 |
| | ダンステアトロン No.12 KAZAHANA 風花 | 勅使川原三郎 | 2005. 2/04 |
| | ダンスプラネット No.16 移動の法則 | 水と油 | 2005. 2/18 |
| | ダンスプラネット No.17 田中 涙 独舞・赤光 | 田中 涙 音楽・演奏 大倉正之助／一噌幸弘 | 2005. 6/03 |

| シーズン | 公演 | 振付・主演・演奏 等 | 公演初日 |
|--|--|---|------------|
| 2005/ 2006 | ダンスプラネット No.18 ダンスコンサート 舞姫と牧神達の午後 | | |
| | ダリのリアリズムの薔薇 あやかし Where is my moon? 光芒 ～長き尾を引き流れ星は～ Butterfly noon afternoon | 矢作聡子&藤田恭子&関根えりか&山中ひさの 花柳せいら&伊藤拓次 バク・ユースン&キム・ソンヨン 蘭このみ&清水典人 平山素子&中川 賢 マイケル・シューマツハ & アレッシオ・シルベストリン | 2005. 9/16 |
| | ダンスプラネット No.19 コラボレートする身体 いぶき～奇蹟の大地 法悦 | 森山開次&宮崎秀人 能美健志&高田みどり 打楽器演奏 高田みどり | 2005.11/25 |
| | ダンスシアタロン No.13 バレエ・プレルジョカージュ | | |
| | A プログラム N | アンジュラン・プレルジョカージュ | 2006. 1/31 |
| | B プログラム Les 4 saisons…(四季) | アンジュラン・プレルジョカージュ | 2006. 2/04 |
| | ダンスプラネット No.20 きらめく背骨 | 前田清実 音楽・演奏 金子飛鳥 | 2006. 6/16 |
| 2006/ 2007 | ダンスプラネット No.21 DANCE EXHIBITION 2006 | | |
| | A プログラム 【c-e】 消失にむかう地点の青 Crush さーかす | 佐藤美紀 共同演出 鈴木千穂/平多利江 キム・バンソン 川野真子 演出 中村しんじ | 2006. 9/15 |
| | B プログラム QWERTY 人形 Chopiniana ケース Butterfly no-side | 石山雄三 湊斐美子 中野真紀子 新上裕也 平山素子&中川 賢 ゲー・リャンリャン&高頂 | 2006. 9/18 |
| | ダンスシアタロン No.14 ガラスノ牙 | 勅使川原三郎 | 2006.12/15 |
| | ダンスシアタロン No.15 如風～inside of wind | 野坂公夫/武元賀寿子/内田 香 演出・音楽・演奏 大倉正之助 音楽・演奏 ロバート・ミラバル | 2007. 2/10 |
| | ダンスプラネット No.22 Life Casting 一型取られる生命ー | 平山素子 | 2007. 6/01 |
| | ダンスプラネット No.23 消息 Substance | 勅使川原三郎 | 2007. 9/29 |
| ダンスプラネット No.24 勅使川原三郎ソロ ミロク | 勅使川原三郎 | 2007.12/08 | |
| ダンスプラネット No.25 ダンス名作展 ー10 年を振り返って未来への展望ー | | | |
| Against Newton シャコンヌ Espresso さーかす | 岩淵多喜子 平山素子&能美健志 内田 香&古賀 豊 ヴァイオリン演奏 末永千湖 川野真子 演出 中村しんじ | 2008. 1/18 | |
| ダンスプラネット No.26 未来へ繋ぐトリプル・ビル | | | |
| 受胎告知 Butterfly 曲線(カーブ)した声 | アンジュラン・プレルジョカージュ 平山素子&中川 賢 野坂公夫/坂本信子 | 2008. 2/15 | |
| ダンスプラネット No.27 空気のダンス ーデッサンから飛び立った少年少女ー | 勅使川原三郎 | 2008. 4/04 | |

| シーズン | 公演 | 振付・主演・演奏 等 | 公演初日 |
|---------------|--|---|---|
| 2008/ 2009 | ダンスプラネット No.21 DANCE EXHIBITION 2008 —Dance meets Music— | | |
| | A プログラム Accumulated Layout (蓄積された配置) “形が”“人が”語り始めると カッコウ | 梅田宏明 二見一幸ノダンスカンパニーカレイドスコープ Co. 山田うん ピアノ演奏 クリヤ・マコト | 2008. 9/06 |
| | B プログラム REM —The Black Cat パレードの馬 Flush (ほとばしる)～生き急ぐ時間たち～ | 川口ゆい 加賀谷香 音楽・ヴァイオリン演奏 太田恵資 上島雪夫ノUESHIMA theater | 2008. 9/13 |
| | ダンスシアトロン No.16 古楽とストラヴィンスキー 木佐貫邦子×平山素子 | | 2008.11/15 |
| | キャラバン 春の祭典 | 木佐貫邦子 音楽 スカンク 平山素子ノ柳本雅寛 ピアノ演奏 土田英介ノ篠田昌伸 | |
| | ダンスプラネット No.29 森山開次作品集 | | 2009. 2/09 |
| | OKINA 弱法師 花想観 狂ひそうろふ(くろいそうろう) | 森山開次ノ津村禮次郎 音楽 種子田郷 森山開次ノ加賀谷 香ノ津村禮次郎 音楽 笠松泰洋 フルーツ演奏 木之脇道元 森山開次 音楽・パーカッション YAS-KAZ | |
| | 金森 穰 Noism09 ZONE ～陽炎 稲妻 水の月 | 金森 穰 出演 Noism09 | 2009. 6/17 |
| 2009/ 2010 | ダンスシアトロン No.17 勅使川原三郎 鏡と音楽 | 勅使川原三郎 | 2009. 9/25 |
| | ダンスプラネット No.31 平山素子 Life Casting —型取られる生命— | 平山素子 音楽 落合敏行 | 2009.11/05 |
| | ダンスプラネット No.32 近藤良平 トリプルビル | 近藤良平 | 2010. 2/05 |
| | ダンスシアトロン No.18 DANCE to the Future | | 出演 新国立劇場バレエ団 |
| | Wolfgang for Webb THE LAST ERA OF CINDERELLA Snow Lotus —雪蓮華 | ドミニク・ウォルシュ 能美健志 井口裕之 | |
| 2010/ 2011 | ダンスプラネット No.33 DANCE PLATFORM 2010 | | |
| | A プログラム 果てに… SINSHOKU Improvisation.705117902 Autumn Hunch | 原田みのる 池田美佳 菊地尚子 高瀬譜希子 | 2010.10/22 |
| | B プログラム FAUNE (2008) レトルト —その中の愛と闘争 belle-île イキキル | 大岩淑子 山口華子 松崎えり C/Ompany (大植真太郎・柳本雅寛・平原慎太郎) | 2010.10/29 |
| | ダンスシアトロン No.19 ストラヴィンスキー・イブニング | 平山素子 音楽 イーゴリ・ストラヴィンスキー | 2010.12/04 |
| | 兵士の物語 春の祭典 | | 演奏 崔 文洙 (vl.) 松本健司 (cl.) 土田英介 (pf) ピアノ演奏 土田英介ノ篠田昌伸 |
| | ダンスプラネット No.34 イデビアン・クルー アレルギー | 井手茂太 出演 イデビアン・クルー | 2011. 3/09 |
| | ダンスシアトロン No.20 DANCE to the Future 2011 | | 出演 新国立劇場バレエ団 |
| | Almond Blossoms QWERTY ナット・キング・コール組曲 | キミホ・ハルバート 石山雄三 上島雪夫 | |

| シーズン | 公演 | 振付・主演・演奏 等 | 公演初日 |
|---------------|--|---|-------------|
| 2011/ 2012 | Shakespeare THE SONNETS | 中村恩恵／首藤康之 音楽 D.P.ハウブリッヒ | 2011. 9/30 |
| | 近松 DANCE 弐題 | | |
| | Aプログラム 女殺油地獄 | 鍵田真由美／佐藤浩希 アルテ イソラ 音楽 J.ガルベス | 2011. 11/17 |
| | Bプログラム エゴイズム | 加賀谷香 Dance-SHAN 音楽 笠松泰洋 | 2011. 11/25 |
| | カラマーゾフの兄弟 | 小野寺修二 カンパニーデラシネラ | 2012. 2/08 |
| | DANCE to the Future 2012 Ag+G Butterfly 兵士の物語 | 平山素子 出演 新国立劇場バレエ団 音楽 笠松泰洋、落合敏行 共同振付 中川 賢 音楽 M.ナイマン、落合敏行 音楽 I.ストラヴィンスキー 演奏 竹中勇人(vl.) 杉本健司(cl.) 土田英介(pf) | 2012. 4/21 |
| 2012/ 2013 | 森山開次「曼荼羅の宇宙」 | 森山開次 音楽・演奏 高木正勝 | 2012. 10/17 |
| | DANCE PLATFORM 2012 | | |
| | Aプログラム ユニット・キミホ「Beauties and Beasts」 | キミホ・ハルバート ユニット・キミホ | 2012. 11/17 |
| | Bプログラム 高谷史郎(ダムタイプ)「明るい部屋」 | 高谷史郎 | 2012. 12/07 |
| | DANCE to the Future 2013 solo for 2 The Well-Tempered / Who is "Us" ? / O Solitude | 出演 新国立劇場バレエ団 金森 穰 演奏 渡辺玲子(vl.) 中村恩恵 | 2013. 3/26 |
| | フランス印象派ダンス「Trip Triptych」 | 平山素子 音楽 C.ドビュッシー/M.ラヴェル/E.サティ | 2013. 6/07 |
| 2013/ 2014 | 中村恩恵×首藤康之 | 中村恩恵／首藤康之 音楽 D.P. ハウブリッヒ | |
| | Aプログラム 小さな家 UNE PETITE MAISON | | 2013. 10/04 |
| | Bプログラム Shakespeare THE SONNETS | | 2013. 10/09 |
| | DANCE to the Future ～Second Steps～ | 監修 デヴィッド・ビントレー 振付・出演 新国立劇場バレエ団 | 2013. 12/07 |
| | 小野寺修二 カンパニーデラシネラ ある女の家 | 小野寺修二 | 2014. 1/23 |
| | ダンス・アーカイヴ in JAPAN —未来への扉— a Door to the Future | | 2014. 6/06 |
| | 第一部「日本の太鼓」 第二部 小品集 ピチカット 母 タンゴ 三題 BANBAN 食欲をそそる 白い手袋 第三部「春の祭典」 | 江口隆哉 音楽 伊福部 昭 伊藤道郎 演奏 杉山麻衣子(vi.) 阿部篤志(pf) 高田せい子 今川裕代(pf) 伊藤道郎 小森 敏 宮 操子 阿部篤志(pf) 檜 健次 今川裕代(pf) 石井 漢 加藤訓子(Perc.) 石井 漢 加藤訓子(Perc.) 平山素子／柳本雅寛 ピアノ演奏 土田英介／篠田昌伸 | |
| | | | |
| 2014/ 2015 | JAPON dance project TOKYO 2014 CLOUD /CROWD | 遠藤康行／小池ミモザ／青木尚哉／柳本雅寛／児玉北斗 | 2014. 8/30 |
| | 新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future ～Third Steps～ NBJ Choreographic Group | アドヴァイザー 平山素子(招待作品振付) マイルン・トレウバエフ／貝川鐵夫／福田圭吾／小口邦明 宝満直也／高橋一輝／広瀬 碧 | 2015. 1/16 |
| | ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2015 | | 2015. 3/07 |
| | 第一部 小品集 機械は生きている マスク 恐怖の踊り 釣り人 スカラ座のまり使い 第二部 体(たい) | 石井 漢 演奏 加藤訓子(Perc.) 石井 漢 執行正俊 檜 健次 演奏 河内春香(pf) 江口隆哉 演奏 河内春香(pf) 石井みどり | |
| | 森山開次「サーカス」 | 演出・振付・アートディレクション 森山開次 音楽 川瀬浩介 出演 森山開次 ほか | 2015. 6/20 |
| | | | |

| シーズン | 公演 | 振付・主演・演奏 等 | 公演初日 |
|-----------------------------|--|---|-------------|
| 2015/ 2016 | 近松 DANCE 武題 | | |
| | Aプログラム 「エゴイズム」 | 加賀谷 香 Dance-SHAN 音楽 笠松泰洋 | 2015. 10/09 |
| | Bプログラム 「近松の女」 梅川 近松リポーターズ 五障 Goshō(おさんと小春より) | 吾妻徳穂(日本舞踊)／酒井はな(バレエ)／蘭このみ(フラメンコ) 音楽・演奏 染谷ひろし／稲津清一(ギター)／手塚 環(カンテ[歌]) 蘭 このみ 島地保武 音楽 古川展生(チェロ) 吾妻徳穂 作曲・笛演奏 藤舎推峰／ 琴・胡弓演奏 日吉章吾 | 2015. 10/16 |
| | 新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2016 | | |
| | NBJ Choreographic Group 作品 暗やみから解き放たれて | 米沢 唯／貝川鐵夫／福田圭吾／小口邦明／宝満直也／高橋一輝／原田有希 ジェシカ・ラング 音楽 O.アルナルズ／N.フラーム／ J.クレイマー／J.メトカーフ | 2016. 3/12 |
| 平山素子「Hybrid-Rhythm & Dance」 | 平山素子 音楽 オレカ TX (Perc.) / 床 絵美(唄) | 2016. 3/25 | |
| 高谷史郎(ダムタイプ)「CHROMA(クロマ)」 | 高谷史郎 音楽 サイモン・フィッシャー・ターナー／ 南 琢也／原 摩利彦 | 2016. 5/21 | |
| 2016/ 2017 | JAPON dance project 2016 Move / Still | 遠藤康行／小池ミモザ／青木尚哉／柳本雅寛／児玉北斗 | 2016. 8/27 |
| | 新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2016 Autumn | アドヴァイザー 中村恩恵 出演 新国立劇場バレエ団 | |
| | NBJ Choreographic Group 作品 生演奏による Improvisation 即興 | 貝川鐵夫／木下嘉人／福田紘也／宝満直也 演奏 中川俊郎(pf.)／木ノ脇 道元(fl.) (18日) 音楽監修・演奏 笠松泰洋 スガダイロー(pf.)／室屋光一郎(vl.) (19日) 林 正樹(pf.)／佐藤芳明(acc.) (20日) | 2016. 11/18 |
| | 中村恩恵 × 新国立劇場バレエ団 「ペーターヴェン・ソナタ」 | 中村恩恵 音楽 L.v.ペーターヴェン 出演 首藤康之／新国立劇場バレエ団 | 2017. 3/18 |
| | 小野寺修二 カンパニーデラシネラ 「ふしぎの国のアリス」 | 構成・振付 小野寺修二 出演 カンパニーデラシネラ | 2017. 6/03 |
| 2017/ 2018 | 舞踏の今 その1 山海塾「海の賑わい 陸(オカ)の静寂— めぐり」 | 演出・振付・デザイン 音楽 加古 隆／YAS-KAZ／吉川洋一郎 天児牛大 出演 山海塾 | 2017. 11/25 |
| | 高谷史郎(ダムタイプ)「ST/LL」 | 総合ディレクション 音楽 坂本龍一／原 摩利彦／南 琢也 高谷史郎 出演 鶴田真由／藪内美佐子／平井優子／ オリヴィエ・バルザリーニ | 2018. 2/24 |
| | 舞踏の今 その1 大駱駝艦・天賦典式「罪と罰」 | 振舞・演出・美術 磨 赤兒 舞態(出演) 磨 赤兒ほか | 2018. 3/17 |
| | 森山開次「サーカス」 | 演出・振付・アートディレクション 音楽 川瀬浩介 森山開次 出演 森山開次 ほか | 2018. 5/19 |
| 2018/ 2019 | JAPON dance project 2018 × 新国立劇場バレエ団 「Summer / Night / Dream」 | 遠藤康行／小池ミモザ／柳本雅寛 | 2018. 8/25 |
| | ダンス・アーカイヴ in JAPAN 2018 | | |
| | 「砂漠のミイラ」 「獄舎の演芸」 「八月の庭」 | 庄司 裕 音楽構成 山本 直 藤井 公 音楽 クルト・ヴァイル ほか 若松美黄 音楽 安良岡章夫 | 2018. 11/24 |
| | 新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2019 | アドヴァイザー 中村恩恵 出演 新国立劇場バレエ団 | |
| | NBJ Choreographic Group 作品 生演奏による Improvisation 即興 | 貝川鐵夫／福田圭吾／高橋一輝／福田紘也 演奏 スガダイロー(pf.)室屋光一郎(vl.)伊藤ハルトン(vc./gt.)(29日) 音楽監修・演奏 阿部篤志(pf.)笠松泰洋(ob.)室屋光一郎(vl.) (30日 13:00) 笠松泰洋 阿部篤志(pf.)笠松泰洋(ob.)太田恵資(vl.) (30日 18:00) 林 正樹(pf.)佐藤芳明(acc.)岩川 光(ケーナ) (31日) | 2019. 3/29 |
| 森山開次「NINJA」 | 演出・振付・アートディレクション 音楽 川瀬浩介 森山開次 出演 森山開次 ほか | 2019. 5/31 | |

| | | | | |
|---------------|---|--|---------------------------------------|-------------|
| 2019/ 2020 | 中村恩恵 × 新国立劇場バレエ団 「ベートーヴェン・ソナタ」 | 中村恩恵 | 音楽 L.v.ベートーヴェン 出演 首藤康之 / 新国立劇場バレエ団 | 2019. 11/30 |
| | 新国立劇場バレエ団 DANCE to the Future 2020 | アドバイザー 遠藤康行 出演 新国立劇場バレエ団 | | 2020. 3/27 |
| | NBJ Choreographic Group 作品 コンポジション・プロジェクトによる作品 | 渡邊峻郁 / 貝川鐵夫 / 福田圭吾 / 木下嘉人 / 高橋一輝 / 福田紘也 アドバイザー 遠藤康行 | 音楽 平本正宏 | |
| | 小野寺修二 カンパニーデラシネラ 「ふしぎの国のアリス」 | 構成・振付 小野寺修二 | 出演 カンパニーデラシネラ | 2020. 6/20 |